

健康推進プランよこすか事業計画一覧

◎…主な取り組み事業
○…関連する事業

① 栄養・食生活

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	栄養・ 食生活
1	後期高齢者健康診査受診率	25%	24.10%	A	24%	受診率が向上するよう対策をしていく、目標は再興プランに合わせ修正した	健康管理支援課	○
2	医療保険非該当者の保健指導実施人数	10人	7人	B	10人	引き続き継続していく	健康管理支援課	○
3	骨密度検診受診者数	1,865人	2,910人	A	1,640人	令和7年度は受診率が大幅に想定を上回り、結果として予算を超過した。令和9年度の目標(予算)については、令和8年度の実績に基づき必要な見直しを行い、適正な水準に修復(調整)していく。	健康管理支援課	○
4	後期高齢者健康診受診勧奨通知の発送数	73,000通	73,270通	A	76,100通	対象者は増加し続けている。効果的な勧奨の実施を行っていく	健康管理支援課	○
5	市のホームページ等に健診実施医療機関情報(日曜診療等)の掲載医療機関件数	150件	172件	A	150件	引き続き医療機関と情報共有を行いながら実施していく	健康管理支援課	○
6	健診センター特定健診受診者数(40歳～74歳の国民健康保険・社会保険の被保険者)	2,669人	2,912人	A	3,081人	引き続き微増する目標値に向け事業を安定的に継続していく	健康管理支援課	○
7	健診センターの休日健診実施回数	3回	3回	A	3回	休日健診の希望者もいるため継続していく	健康管理支援課	○
8	健診センターにおける生活習慣病の予防と改善を目的とした結果説明会実施回数	11回	11回	A	11回	引き続き希望者に対して実施していく	健康管理支援課	○
9	毎月市のホームページに市民健診実施医療機関情報を掲載	11回	11回	A	11回	引き続き掲載内容を適宜更新、掲載していく	健康管理支援課	○
10	特定健診受診率(国民健康保険加入の40～74歳が対象)	34.0%	実績は10月以降に確定		35.0%	20.6%(令和8年2月時点の速報値) 前年同時期と比較すると0.5ポイント伸びている	健康管理支援課	○
11	特定保健指導実施率	16.0%	実績は10月以降に確定		17.0%	0.1%(令和8年2月時点の速報値) 前年同時期と同レベル。実績は今後伸びてくる見込み。	健康管理支援課	○
12	特定健康診査の結果、血圧のリスク者への受診勧奨後の医療機関受診率	38.5%	17.7%	D	38.5%	令和6年度までは、月次で対象者を抽出していたが、令和7年度から年次で対象者を抽出するスキームに変更。健診結果を見て、自発的に受診する方が、対象に含まれなくなったことにより、表面的には受診率が全体的に低下した。目標値はデータヘルス計画中間評価(令和8年度中)に再検討予定	健康増進課	○
13	特定健康診査の結果、血糖のリスク者への受診勧奨後の医療機関受診率	38.5%	20.5%	D	38.5%		健康増進課	○
14	特定健康診査の結果、脂質のリスク者への受診勧奨後の医療機関受診率	38.5%	17.9%	D	38.5%		健康増進課	○
15	特定健康診査の結果、腎臓のリスク者への受診勧奨後の専門医療機関受診率	51.7%	実績は8月以降に確定		51.9%	令和7年度実績は8月以降に判明予定	健康管理支援課	○
16	妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、訪問の実施率	100%	100%	A	100%	妊娠期から子育て期まで必要に応じて訪問や電話等で継続支援をしました。引き続き、切れ目ない支援を実施します。	地域健康課	○
17	妊娠期からの各種教室の実施回数	64回	64回	A	64回	計画とおりに開催できました。教室の周知に努め引き続き実施します。	地域健康課	◎
18	子育て期の各種教室の実施回数	241回	240回	A	229回	実績を踏まえ、教室実施回数を適正化し、より内容の充実をしていきます。	地域健康課	◎

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	栄養・ 食生活
19	地域からの依頼による健康教育の実施回数	36回	36回	A	-	地域からの要望に今後も応え、実施します。	地域健康課	◎
20	生後4カ月までの乳児の養育環境の把握率	100%	100%	A	100%	保健師や助産師が、新生児・乳児家庭訪問を行い、訪問できなかった家庭は面接等を実施し、全数把握に努めました。今後も、継続して実施します。	地域健康課	○
21	公立保育園での食育パフォーマンスの実施回数	16回	9回	D	8回	令和7年度は、各園で「食品ロス」について、更に、中央こども園で「食育シアター」を実施しました。五感を使った参加型の講話を引き続き実施します。	子育て支援課	◎
22	市内保育園等98施設に食事のおたよりの配布回数	12回	12回	A	12回	「食事の大切さ」の啓発として、引き続き実施します。	子育て支援課	◎
23	公立保育園にて食育講話の実施回数	96回	96回	A	84回	「食事の大切さ」の啓発として、引き続き実施します。	子育て支援課	◎
24	公立保育園で毎日の給食時に保育士等による食指導および共食の実施園数	8園	8園	A	7園	引き続き実施します。	子育て支援課	○
25	公立保育園で園内菜園の実施園数	8園	8園	A	7園	園児が野菜等をきっかけに興味を持てるよう引き続き実施します。	子育て支援課	○
26	公立保育園での健診の実施回数	各園 0～2歳児隔月 3～5歳児3回	各園 0～2歳児隔月 3～5歳児3回	A	各園 0～2歳児隔月 3～5歳児3回	引き続き実施します。	子育て支援課	○
27	学校食育研修講座の参加率	95%	75%	B	95%	食に関する指導をテーマに実施しました。令和8年度は、学校におけるアレルギー疾患への対応をテーマに行います。受講者の糧となるよう、計画立案していきます。	学校食育課	◎
28	小・中・ろう学校への献立表とセンター通信発信回数	17回	17回	A	17回	給食日より等による食育の普及啓発を目指して、引き続き実施します。	学校食育課	◎
29	「食に関する指導の全体計画」の実行	100%	100%	A	100%	関係部署と連携を取りながら、目標の達成を目指します。	学校食育課	○
30	「給食時間マニュアル」に基づいた給食指導の実践学校数	69校	69校	A	69校		学校食育課	◎
31	関連各教科における食に関する指導(栄養教諭等の活用も含め)の実践学校数	69校	69校	A	69校		学校食育課	◎
32	給食センターにおける食育講座の実施回数	20回	25回	A	20回	引き続き、実施していきます。	学校食育課	◎
33	精神保健対策事業における講演会・研修会及び地域からの依頼による教室の実施回数	1回	4回	A	1回	家族会・包括支援センター、施設等において実施。	保健所保健予防課	○
34	コミュニティセンターにおける各種講座の実施数	74講座	74講座	A	-	今後も継続して、関連する講座の実施を目指す	地域コミュニティ支援課	○
35	農業交流促進事業の実施校数（児童対象）	3校	2校	C	3校	目標の達成には届きませんでしたが、3校を目標に引き続き事業を実施します。	農水産振興課	○

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	栄養・ 食生活
36	集団健康教育の参加率	60%	60.8%	A	—	参加率は令和6年度と比較し増加したが、これは定員を減らしたためであり参加者人数は増加していない。また、参加者の多くが65歳以上であり、介護予防教室と参加者層が重なっている。これらの状況を鑑み、生活習慣病予防講座は令和8年度は実施せず、働きざかり世代へのアプローチとして職域での健康教育を強化していく。	健康増進課	◎
37	健康教育に関する講演会の参加率	70%	80%	A	80%	事業実施にあたり、健康福祉センターと協力して実施していく。より市民に近い目線での内容検討を行い、参加率を維持していく。	健康増進課	◎
38	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	22回	A	22回	関係団体への周知を強化し、働きざかり世代への健康教育を実施したため令和6年度と比較し増加した。令和8年度も引き続き実施するが、ニーズや現状把握が必要であるため、目標の実施回数は維持としたい。	健康増進課	◎
39	健康アプリ利用者数	7,000人	8,565人	A	-	ポイント付与のキャンペーンを実施し利用者数が増加したが、その後は多くの人が継続していないことがアクティブ率より読み取れ、事業の継続性は難しく、令和7年度で事業終了。	健康増進課	○
40	ヘルスメイト会員数	40人	48人	A	45人	目標を達成することはできたが、その後8名の退会者がでたことで現状会員数は40人となっている。 養成講座参加者数の増加のために引き続き周知等に力を入れたい。	健康増進課	○
41	ヘルスメイト委託事業参加者数	280人	419人	A	320人	実績値の根拠は、保育園の講話(343人)、講話と調理実習(76人)	健康増進課	◎
42	食育に関する教室等の講習会参加率	70%	93%	A	70%	実績値の根拠は、魚のさばき方教室(申込16人参加15人)、食育推進調理実習(申込40人、参加38人)	健康増進課	◎
43	食育関係団体との連携数	310機関	311機関	A	315機関	実績値の根拠はE表示協力店(300)+新規登録店(3)+ヘルスメイトよこすか、神奈川県立保健福祉大学、商工会議所、JA、食品衛生協会、イオン、キュービー、味の素(8)。今後も広く連携し、累積して目標を達成していく。	健康増進課	○
44	食育推進キャンペーンの参加者数	-	未実施		522人	令和8年度は食育単体で実施予定	健康増進課	◎
45	巡回指導を行った給食施設数	54施設	60施設	A	55施設	事業所への巡回指導を順調に実施することができた。	健康増進課	○
46	特定給食施設講演会参加施設数	77施設	90施設	A	80施設	テーマが時勢的によく参加施設数が増えた。 ハイブリットでの実施は好評。今後も継続する。	健康増進課	○
47	一般健康相談の満足度	90%	100%	A	100%	18人に対して実施し、アンケート結果より満足度は100%であった。引き続き丁寧に相談対応を行い、行動変容につながるよう満足度の高い健康相談を実施していく。	健康増進課	○
48	後期高齢者を対象にした保健事業で日常生活圏域の事業実施(圏域数)	10圏域	10圏域	A	10圏域	引き続き市内全域10圏域で実施していく。低栄養(口腔リスク・身体的フレイルリスク含む)、健康状態不明者へのアプローチに加え、令和8年度は重症化予防事業も行い、ハイリスク者への個別支援を行う。	健康増進課	○
49	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	13団体	13団体	A	13団体	目標達成することができた。令和8年度は組織変更に伴い、健康福祉センター主体で実施していく。	健康増進課	◎
50	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	321人	B	440人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。 栄養教室について、参加人数の枠を増やして実施する。	健康増進課	◎
51	介護予防サポーター、フレイルサポーター養成数(介護予防・フレイル)	100人	87人	B	100人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。	健康増進課	○
52	地域型介護予防教室(委託)回数	240回	170回	B	240回	引き続き、地域包括支援センターとの様々な会議体を通して、目標達成に向けて働きかける。	健康増進課	◎

◎・・・主な取り組み事業

○・・・関連する事業

健康推進プランよこすか事業計画一覧

② 身体活動・運動

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	身体活 動・運動
1	医療保険非該当者の保健指導実施人数	10人	7人	B	10人	引き続き継続していく	健康管理支援課	○
2	骨密度検診受診者数	1,865人	2,910人	A	1,640人	令和7年度は受診率が大幅に想定を上回り、結果として予算を超過した。 令和9年度の目標(予算)については、令和8年度の実績に基づき必要な見直しを行い、適正な水準に修復(調整)していく。	健康管理支援課	○
3	健診センターにおける生活習慣病の予防と改善を目的とした結果説明会実施回数	11回	11回	A	11回	引き続き希望者に対して実施していく	健康管理支援課	○
4	特定保健指導実施率	16.0%	実績は10月以降に確定		17.0%	0.1%(令和8年2月時点の速報値) 前年同時期と同レベル。実績は今後伸びてくる見込み。	健康管理支援課	○
5	特定健康診査の結果、血圧のリスク者への受診勧奨後の医療機関受診率	38.5%	17.7%	D	38.5%	令和6年度までは、月次で対象者を抽出していたが、令和7年度から年次で対象者を抽出するスキームに変更。健診結果を見て、自発的に受診する方が、対象に含まれなくなったことにより、表面的には受診率が全体的に低下した。目標値はデータヘルス計画中間評価(令和8年度中)に再検討予定	健康増進課	○
6	特定健康診査の結果、血糖のリスク者への受診勧奨後の医療機関受診率	38.5%	20.5%	D	38.5%		健康増進課	○
7	特定健康診査の結果、脂質のリスク者への受診勧奨後の医療機関受診率	38.5%	17.9%	D	38.5%		健康増進課	○
8	特定健康診査の結果、腎臓のリスク者への受診勧奨後の専門医療機関受診率	51.7%	実績は8月以降に確定		51.9%	令和7年度実績は8月以降に判明予定	健康管理支援課	○
9	妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、訪問の実施率	100%	100%	A	100%	妊娠期から子育て期まで必要に応じて訪問や電話等で継続支援をしました。 引き続き、切れ目ない支援を実施します。	地域健康課	○
10	妊娠期からの各種教室の実施回数	64回	64回	A	64回	計画とおりに開催できました。教室の周知に努め引き続き実施します。	地域健康課	○
11	子育て期の各種教室の実施回数	241回	240回	A	229回	実績を踏まえ、教室実施回数を適正化し、より内容の充実をしていきます。	地域健康課	○
12	地域からの依頼による健康教育の実施回数	36回	36回	A	-	地域からの要望に今後も応え、実施します。	地域健康課	○
13	生後4カ月までの乳児の養育環境の把握率	100%	100%	A	100%	保健師や助産師が、新生児・乳児家庭訪問を行い、訪問できなかった家庭は面接等を実施し、全数把握に努めました。今後も、継続して実施します。	地域健康課	○
14	精神保健対策事業における講演会・研修会及び地域からの依頼による教室の実施回数	1回	4回	A	1回	家族会・包括支援センター、施設等において実施。	保健所保健予防課	○
15	新体力テスト測定員講習会の参加人数	15人	15人	A	15人	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	◎
16	スポーツフェスタの来場者数	5,000人	10,800人	A	5,000人	今後も引き続き開催していく。	スポーツ振興課	◎
17	夏休みのラジオ体操カード配布数	10,890枚	10,290枚	A	10,890枚	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	◎
18	夏休みのラジオ体操精進表彰数	10,069枚	9,350枚	A	10,069枚		スポーツ振興課	◎
19	学校体育施設の地域住民等への開放実施校数	67校	67校	A	67校	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	身体活動・運動
20	市民スポーツ教室数	20教室	19教室	A	20教室	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	◎
21	参加率50%以上のスポーツ教室数	15教室	14教室	A	15教室		スポーツ振興課	◎
22	コミュニティセンターにおける各種講座の実施数	74講座	74講座	A	-	今後も継続して、関連する講座の実施を目指す	地域コミュニティ支援課	○
23	集団健康教育の参加率	60%	60.8%	A	-	参加率は令和6年度と比較し増加したが、これは定員を減らしたためであり参加者人数は増加していない。また、参加者の多くが65歳以上であり、介護予防教室と参加者層が重なっている。これらの状況を鑑み、生活習慣病予防講座は令和8年度は実施せず、働きざかり世代へのアプローチとして職場での健康教育を強化していく。	健康増進課	◎
24	健康教育に関する講演会の参加率	70%	80%	A	80%	事業実施にあたり、健康福祉センターと協力して実施していく。より市民に近い目線での内容検討を行い、参加率を維持していく。	健康増進課	◎
25	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	22回	A	22回	関係団体への周知を強化し、働きざかり世代への健康教育を実施したため令和6年度と比較し増加した。令和8年度も引き続き実施するが、ニーズや現状把握が必要であるため、目標の実施回数は維持としたい。	健康増進課	◎
26	ラジオ体操登録団体数	100団体	82団体	B	100団体	登録団体へは引き続きサポートを行う。	健康増進課	○
27	健康アプリ利用者数	7,000人	8,565人	A	-	ポイント付与のキャンペーンを実施し利用者数が増加したが、その後は多くの人が継続していないことがアクティブ率より読み取れ、事業の継続性は難しく、令和7年度で事業終了。	健康増進課	○
28	一般健康相談の満足度	90%	100%	A	100%	18人に対して実施し、アンケート結果より満足度は100%であった。引き続き丁寧に相談対応を行い、行動変容につながるよう満足度の高い健康相談を実施していく。	健康増進課	○
29	後期高齢者を対象にした保健事業で日常生活圏域の事業実施(圏域数)	10圏域	10圏域	A	10圏域	引き続き市内全域10圏域で実施していく。低栄養(口腔リスク・身体的フレイルリスク含む)、健康状態不明者へのアプローチに加え、令和8年度は重症化予防事業も行い、ハイリスク者への個別支援を行う。	健康増進課	○
30	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	13団体	13団体	A	13団体	目標達成することができた。 令和8年度は組織変更に伴い、健康福祉センター主体で実施していく。	健康増進課	◎
31	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	321人	B	440人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。 栄養教室について、参加人数の枠を増やして実施する。	健康増進課	◎
32	介護予防サポーター、フレイルサポーター養成数(介護予防・フレイル)	100人	87人	B	100人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。	健康増進課	○
33	地域型介護予防教室(委託)回数	240回	170回	B	240回	引き続き、地域包括支援センターとの様々な会議体を通して、目標達成に向けて働きかける。	健康増進課	◎
34	地域リハビリテーション活動支援事業における専門職派遣事業の実施団体数	6団体	4団体	C	6団体	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。	健康増進課	○

③ 休養・睡眠

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	休養・ 睡眠
1	特定保健指導実施率	16.0%	実績は10月以降に確定		17.0%	0.1%(令和8年2月時点の速報値) 前年同時期と同レベル。実績は今後伸びてくる見込み。	健康管理支援課	○
2	特定健康診査の結果、血圧のリスク者への受診勧奨後の医療機関受診率	38.5%	17.7%	D	38.5%	令和6年度までは、月次で対象者を抽出していたが、令和7年度から年次で対象者を抽出するスキームに変更。健診結果を見て、自発的に受診する方が、対象に含まれなくなったことにより、表面的には受診率が全体的に低下した。目標値はデータヘルス計画中間評価(令和8年度中)に再検討予定	健康増進課	○
3	特定健康診査の結果、血糖のリスク者への受診勧奨後の医療機関受診率	38.5%	20.5%	D	38.5%		健康増進課	○
4	特定健康診査の結果、脂質のリスク者への受診勧奨後の医療機関受診率	38.5%	17.9%	D	38.5%		健康増進課	○
5	特定健康診査の結果、腎臓のリスク者への受診勧奨後の専門医療機関受診率	51.7%	実績は8月以降に確定		51.9%	令和7年度実績は8月以降に判明予定	健康管理支援課	○
6	妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、訪問の実施率	100%	100%	A	100%	妊娠期から子育て期まで必要に応じて訪問や電話等で継続支援をしました。引き続き、切れ目ない支援を実施します。	地域健康課	○
7	生後4カ月までの乳児の養育環境の把握率	100%	100%	A	100%	保健師や助産師が、新生児・乳児家庭訪問を行い、訪問できなかった家庭は面接等を実施し、全数把握に努めました。今後も、継続して実施します。	地域健康課	○
8	職域との連携による健康教育の実施回数	1回	1回	A	1回	鎌倉保健福祉事務所、鎌倉保健福祉三崎センター、労働基準監督署、横須賀市保健所合同で研修会を実施。	保健所保健予防課	◎
9	相談することの大切さについてのポスター配布数	2,000枚	2,000枚	A	2,000枚	毎年9月、3月に自殺予防週間、月間に合わせて啓発ポスターを作成し関係機関に配布。	保健所保健予防課	◎
10	精神保健対策事業における相談機関を掲載した冊子・カードの配布数	14,000枚	14,000枚	A	14,000枚	行政機関を中心に、福祉施設、病院、学校等相談冊子を配布。	保健所保健予防課	◎
11	精神保健対策事業におけるホームページ上に掲載する相談機関数	125機関	137機関	A	125機関	複数の悩みを抱えた方に対応できるよう様々な相談窓口をまとめた冊子を作成・配布。	保健所保健予防課	◎
12	自殺対策キャンペーンの実施回数	2回	2回	A	2回	9月と3月の各1日に、昼の部と夜の部で実施。	保健所保健予防課	◎
13	こころの病気に視点をのいた健康づくり教室の実施回数	3回	3回	A	3回	精神障害に対する偏見や誤った対応をなくすために、こころの健康づくりに対する研修を実施。	保健所保健予防課	◎
14	精神保健対策事業における講演会・研修会及び地域からの依頼による教室の実施回数	1回	4回	A	1回	家族会・包括支援センター、施設等において実施。	保健所保健予防課	◎
15	コミュニティセンターにおける各種講座の実施数	74講座	74講座	A	-	今後も継続して、関連する講座の実施を目指す	地域コミュニティ支援課	○

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	休養・睡眠
16	集団健康教育の参加率	60%	60.8%	A	—	参加率は令和6年度と比較し増加したが、これは定員を減らしたためであり参加者人数は増加していない。また、参加者の多くが65歳以上であり、介護予防教室と参加者層が重なっている。これらの状況を鑑み、生活習慣病予防講座は令和8年度は実施せず、働きざかり世代へのアプローチとして職域での健康教育を強化していく。	健康増進課	○
17	健康教育に関する講演会の参加率	70%	80%	A	80%	事業実施にあたり、健康福祉センターと協力して実施していく。より市民に近い目線での内容検討を行い、参加率を維持していく。	健康増進課	○
18	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	22回	A	22回	関係団体への周知を強化し、働きざかり世代への健康教育を実施したため令和6年度と比較し増加した。令和8年度も引き続き実施するが、ニーズや現状把握が必要であるため、目標の実施回数は維持としたい。	健康増進課	◎
19	一般健康相談の満足度	90%	100%	A	100%	18人に対して実施し、アンケート結果より満足度は100%であった。引き続き丁寧に相談対応を行い、行動変容につながるよう満足度の高い健康相談を実施していく。	健康増進課	○
20	後期高齢者を対象にした保健事業で日常生活圏域の事業実施(圏域数)	10圏域	10圏域	A	10圏域	引き続き市内全域10圏域で実施していく。低栄養(口腔リスク・身体的フレイルリスク含む)、健康状態不明者へのアプローチに加え、令和8年度は重症化予防事業も行い、ハイリスク者への個別支援を行う。	健康増進課	○
21	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	13団体	13団体	A	13団体	目標達成することができた。令和8年度は組織変更に伴い、健康福祉センター主体で実施していく。	健康増進課	○
22	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	321人	B	440人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。栄養教室について、参加人数の枠を増やして実施する。	健康増進課	○
23	介護予防サポーター、フレイルサポーター養成数(介護予防・フレイル)	100人	87人	B	100人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。	健康増進課	○
24	地域型介護予防教室(委託)回数	240回	170回	B	240回	引き続き、地域包括支援センターとの様々な会議体を通して、目標達成に向けて働きかける。	健康増進課	○

健康推進プランよこすか事業計画一覧

◎・・・主な取り組み事業
○・・・関連する事業

④ 飲酒

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	飲酒
1	がん検診初診者数	25,000人	22,495人	B	23,000人	目標値に向け、引き続き継続していく	健康管理支援課	○
2	特定保健指導実施率	16.0%	実績は10月以降に確定		17.0%	0.1%(令和8年2月時点の速報値) 前年同時期と同レベル。実績は今後伸びてくる見込み。	健康管理支援課	○
3	特定健康診査の結果、血圧のリスク者への受診 勧奨後の医療機関受診率	38.5%	17.7%	D	38.5%	令和6年度までは、月次で対象者を抽出していたが、令和7年度から年次で対象者を抽出するスキームに変更。健診結果を見て、自発的に受診する方が、対象に含まれなくなったことにより、表面的には受診率が全体的に低下した。目標値はデータヘルス計画中間評価(令和8年度中)に再検討予定	健康増進課	○
4	特定健康診査の結果、血糖のリスク者への受診 勧奨後の医療機関受診率	38.5%	20.5%	D	38.5%		健康増進課	○
5	特定健康診査の結果、脂質のリスク者への受診 勧奨後の医療機関受診率	38.5%	17.9%	D	38.5%		健康増進課	○
6	特定健康診査の結果、腎臓のリスク者への受診 勧奨後の専門医療機関受診率	51.7%	実績は8月以降に確定		51.9%	令和7年度実績は8月以降に判明予定	健康管理支援課	○
7	妊娠期からの各種教室の実施回数	64回	64回	A	64回	計画とおりに開催できました。教室の周知に努め引き続き実施します。	地域健康課	◎
8	母子健康手帳交付時の面接率	100%	100%	A	100%	引き続き交付時面接とアンケートを実施します。	地域健康課	○
9	青少年相談事業における巡回指導での年間指導 助言件数	302件	210件	C	245件	できる限り若者に声をかけ、「指導」や「助言」に関わらず、地域情報を考慮しながら地域の巡回を行う。	こども家庭支援課	◎
10	非行防止講座実施回数	2回	2回	A	-	令和7年度は地区連合町内会及び地区青少年活動地域連絡会に向けて実施した。引き続き地域団体等への周知を行っていく。	こども家庭支援課	◎
11	青少年健全育成協力店累計数	276店	276店	A	-	廃業する店舗が増加しているため減少した。情報発信や講座などの取り組みを総合的に検討する必要がある。	こども家庭支援課	○
12	外部講師を活用したがん教育開催回数	市立小学校1校 市立中学校1校	市立小学校1校 市立中学校2校	A	市立小学校1校 市立中学校1校	本事業については、小学校1校及び中学校1校を市の公開授業として実施した。参加された先生方と協議することができた。特に今年度は養護教諭の参加もあり、校内での今後の広がりが期待できる。	保健体育課	◎
13	薬物乱用防止(啓発)教室の開催回数	市立小学校34校 市立中学校及び特別支援学校11校 合計45校	市立小学校34校 市立中学校及び特別支援学校11校 合計45校	A	市立小学校36校 市立中学校及び特別支援学校23校	専門的な外部講師を活用することで、教育効果の高い学習を行うことができた。来年度も継続して取り組んでいく。	保健体育課	◎

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	飲酒
14	精神保健対策事業における講演会・研修会及び地域からの依頼による教室の実施回数	1回	4回	A	1回	家族会・包括支援センター、施設等において実施。	保健所保健予防課	○
15	集団健康教育の参加率	60%	60.8%	A	—	参加率は令和6年度と比較し増加したが、これは定員を減らしたためであり参加者人数は増加していない。また、参加者の多くが65歳以上であり、介護予防教室と参加者層が重なっている。これらの状況を鑑み、生活習慣病予防講座は令和8年度は実施せず、働きざかり世代へのアプローチとして職域での健康教育を強化していく。	健康増進課	◎
16	健康教育に関する講演会の参加率	70%	80%	A	80%	事業実施にあたり、健康福祉センターと協力して実施していく。より市民に近い目線での内容検討を行い、参加率を維持していく。	健康増進課	○
17	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	22回	A	22回	関係団体への周知を強化し、働きざかり世代への健康教育を実施したため令和6年度と比較し増加した。令和8年度も引き続き実施するが、ニーズや現状把握が必要であるため、目標の実施回数は維持としたい。	健康増進課	○
18	ヘルスメイト委託事業参加者数	280人	419人	A	320人	実績値の根拠は、保育園の講話(343人)、講話と調理実習(76人)	健康増進課	○
19	一般健康相談の満足度	90%	100%	A	100%	18人に対して実施し、アンケート結果より満足度は100%であった。引き続き丁寧に相談対応を行い、行動変容につながるよう満足度の高い健康相談を実施していく。	健康増進課	○
20	後期高齢者を対象にした保健事業で日常生活圏域の事業実施(圏域数)	10圏域	10圏域	A	10圏域	引き続き市内全域10圏域で実施していく。低栄養(口腔リスク・身体的フレイルリスク含む)、健康状態不明者へのアプローチに加え、令和8年度は重症化予防事業もを行い、ハイリスク者への個別支援を行う。	健康増進課	○
21	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	13団体	13団体	A	13団体	目標達成することができた。令和8年度は組織変更に伴い、健康福祉センター主体で実施していく。	健康増進課	○
22	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	321人	B	440人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。栄養教室について、参加人数の枠を増やして実施する。	健康増進課	○

健康推進プランよこすか事業計画一覧

◎・・・主な取り組み事業

○・・・関連する事業

⑤ 喫煙・COPD

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価 するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	喫煙・慢性閉 塞性肺疾患 (COPD)
1	歯周病検診受診率	12.1%	11.1%	A	12.5%	若い世代の受診者が少ない点が課題です。今後は20歳を含む若年層への周知・受診勧奨を重点的に強化するとともに、関係機関と連携した情報提供等により受診しやすい環境づくりを進め、受診率の向上を図っていきます。	健康管理支援課	○
2	妊婦歯科検診受診率	32.0%	25.3%	B	35.0%	妊娠期は口腔環境が変化しやすく、早期の受診が重要であることから、引き続き周知・受診勧奨を強化していきます。また、令和8年度から妊婦歯科検診受診券を母子健康手帳別冊に綴り込む運用としたことで、妊娠中に受ける健診の一つとして認識され、受診につながる事が期待されます。今後も関係機関と連携しながら一層の周知徹底を図り、受診率の向上を目指します。	健康管理支援課	○
3	がん検診初診者数	25,000人	22,495人	B	23,000人	目標値に向け、引き続き継続していく	健康管理支援課	○
4	特定保健指導実施率	16.0%	実績は10月以降 に確定		17.0%	0.1%(令和8年2月時点の速報値) 前年同時期と同レベル。実績は今後伸びてくる見込み。	健康管理支援課	○
5	特定健康診査の結果、血圧のリスク者への受 診勧奨後の医療機関受診率	38.5%	17.7%	D	38.5%	令和6年度までは、月次で対象者を抽出していたが、令和7年度から 年次で対象者を抽出するスキームに変更。健診結果を見て、自発的に 受診する方が、対象に含まれなくなったことにより、表面的には受診 率が全体的に低下した。目標値はデータヘルス計画中間評価(令和8 年度中)に再検討予定	健康増進課	○
6	特定健康診査の結果、血糖のリスク者への受 診勧奨後の医療機関受診率	38.5%	20.5%	D	38.5%		健康増進課	○
7	特定健康診査の結果、脂質のリスク者への受 診勧奨後の医療機関受診率	38.5%	17.9%	D	38.5%		健康増進課	○
8	特定健康診査の結果、腎臓のリスク者への受 診勧奨後の専門医療機関受診率	51.7%	実績は8月以降 に確定		51.9%	令和7年度実績は8月以降に判明予定	健康管理支援課	○
9	妊娠期からの各種教室の実施回数	64回	64回	A	64回	計画とおりに開催できました。 教室の周知に努め引き続き実施します。	地域健康課	◎
10	母子健康手帳交付時の面接率	100%	100%	A	100%	引き続き交付時面接とアンケートを実施します。	地域健康課	○
11	子育て期の各種教室の実施回数	241回	240回	A	229回	実績を踏まえ、教室実施回数を適正化し、より内容の充実をしています。	地域健康課	○
12	地域からの依頼による健康教育の実施回数	36回	36回	A	-	地域からの要望に今後も応え、実施します。	地域健康課	○
13	青少年相談事業における巡回指導での年間 指導助言件数	302件	210件	C	245件	できる限り若者に声をかけ、「指導」や「助言」に関わらず、地域情報を 考慮しながら地域の巡回を行う。	こども家庭支援課	◎
14	非行防止講座実施回数	2回	2回	A	-	令和7年度は地区連合町内会及び地区青少年活動地域連絡会に向け て実施した。引き続き地域団体等への周知を行っていく。	こども家庭支援課	◎
15	青少年健全育成協力店累計数	276店	276店	A	-	廃業する店舗が増加しているため減少した。情報発信や講座などの取 り組みを総合的に検討する必要がある。	こども家庭支援課	○

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	喫煙・慢性閉塞性肺疾患 (COPD)
16	外部講師を活用したがん教育開催回数	市立小学校1校 市立中学校1校	市立小学校1校 市立中学校2校	A	市立小学校1校 市立中学校1校	本事業については、小学校1校及び中学校1校を市の公開授業として実施した。参加された先生方と協議することができた。特に今年度は養護教諭の参加もあり、校内での今後の広がりが期待できる。	保健体育課	◎
17	薬物乱用防止(啓発)教室の開催回数	市立小学校34校 市立中学校及び特別支援学校11校 合計45校	市立小学校34校 市立中学校及び特別支援学校11校 合計45校	A	市立小学校36校 市立中学校及び特別支援学校23校	専門的な外部講師を活用することで、教育効果の高い学習を行うことができた。来年度も継続して取り組んでいく。	保健体育課	◎
18	小学校での歯科巡回教室の開催回数	市立小学校全クラス実施	市立小学校全クラス実施	A	市立小学校全クラス実施	本事業について、小学校の全クラスで行うことで、毎年度自分の歯について考える機会があることは、健康増進の観点においても有効である。来年度も継続して取り組んでいく。	保健体育課	◎
19	集団健康教育の参加率	60%	60.8%	A	—	参加率は令和6年度と比較し増加したが、これは定員を減らしたためであり参加者人数は増加していない。また、参加者の多くが65歳以上であり、介護予防教室と参加者層が重なっている。これらの状況を鑑み、生活習慣病予防講座は令和8年度は実施せず、働きざかり世代へのアプローチとして職域での健康教育を強化していく。	健康増進課	◎
20	健康教育に関する講演会の参加率	70%	80%	A	80%	事業実施にあたり、健康福祉センターと協力して実施していく。より市民に近い目線での内容検討を行い、参加率を維持していく。	健康増進課	○
21	喫煙防止教室の実施	2校	2校	A	2校	実施後のアンケート結果より、喫煙のリスクへの理解が深まっていることも確認ができた。引き続き依頼に応じて実施していく。	健康増進課	◎
22	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	22回	A	22回	関係団体への周知を強化し、働きざかり世代への健康教育を実施したため令和6年度と比較し増加した。令和8年度も引き続き実施するが、ニーズや現状把握が必要であるため、目標の実施回数は維持としたい。	健康増進課	○
23	一般健康相談の満足度	90%	100%	A	100%	18人に対して実施し、アンケート結果より満足度は100%であった。引き続き丁寧に相談対応を行い、行動変容につながるよう満足度の高い健康相談を実施していく。	健康増進課	○
24	後期高齢者を対象にした保健事業で日常生活圏域の事業実施(圏域数)	10圏域	10圏域	A	10圏域	引き続き市内全域10圏域で実施していく。低栄養(口腔リスク・身体的フレイルリスク含む)、健康状態不明者へのアプローチに加え、令和8年度は重症化予防事業も行い、ハイリスク者への個別支援を行う。	健康増進課	○
25	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	13団体	13団体	A	13団体	目標達成することができた。令和8年度は組織変更に伴い、健康福祉センター主体で実施していく。	健康増進課	○
26	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	321人	B	440人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。栄養教室について、参加人数の枠を増やして実施する。	健康増進課	○

健康推進プランよこすか事業計画一覧

◎・・・主な取り組み事業

○・・・関連する事業

⑥ 歯・口腔の健康

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	歯・口腔 の健康
1	集団フッ化物洗口講習会参加園数	25園	26園	A	27園	歯みがき教室実施時に講演会やフッ化物洗口事業について周知を図りました。歯科医師会と連絡会においても参加を依頼し、引き続き目標達成に向け取り組みます。	地域健康課	◎
2	歯周病検診受診率	12.1%	11.1%	A	12.5%	若い世代の受診者が少ない点が課題です。今後は20歳を含む若年層への周知・受診勧奨を重点的に強化するとともに、関係機関と連携した情報提供等により受診しやすい環境づくりを進め、受診率の向上を図っていきます。	健康管理支援課	◎
3	妊婦歯科検診受診率	32.0%	25.3%	B	35.0%	妊娠期は口腔環境が変化しやすく、早期の受診が重要であることから、引き続き周知・受診勧奨を強化していきます。また、令和8年度から妊婦歯科検診受診券を母子健康手帳別冊に綴り込む運用としたことで、妊娠中に受ける健診の一つとして認識され、受診につながる事が期待されます。今後も関係機関と連携しながら一層の周知徹底を図り、受診率の向上を目指します。	健康管理支援課	◎
4	2歳6カ月児の歯科健康診査受診率	52.9%	46.7%	B	60.0%	2歳6か月頃は乳歯が生えそろう時期であり、むし歯予防や保護者による仕上げみがき等の生活習慣づくりに重要です。また、生涯にわたってかかりつけ歯科医をもち、定期的に歯科健診を受ける習慣を身につけるうえでも大切な時期であることから、対象者への案内(市公式SNSの活用)や受診しやすい環境づくりを検討し、受診率の向上を図ります。あわせて、昨年度より市立園のご協力をいただき、対象児が在籍するクラスの保護者向けに、健診案内の掲示を行っています。	健康管理支援課	◎
5	乳幼児歯科健康教室実施回数	24回	24回	A	24回	計画を達成することができました。引き続き実施します。	地域健康課	◎
6	歯みがき教室実施希望園の実施率	100%	100%	A	100%	計画とおりに実施した。 歯みがき教室の周知に努め引き続き実施します。	地域健康課	◎
7	小学校歯科巡回教室の実施率	100%	100%	A	100%	市立小学校44校、ろう学校、養護学校において歯みがき教室を実施し、計画を達成しました。令和6年度からは歯みがきの実技指導も再開し、前年度に学んだ内容を覚えている児童も多く見られました。今後も、各学年に応じた内容とし、PC等も活用した工夫を行いながら、引き続き歯みがき教室を実施してまいります。	健康増進課	◎
8	オーラルフレイル予防教室参加者数	360人	237人	C	360人	目標達成には至らなかった。引き続き教室実施の周知と参加者募集の方法を工夫し、計画達成に向け取り組む。	健康増進課	◎
9	ミニオーラルフレイル教室参加者のオーラルフレイル認知度(65歳以上)	56.40%	55.70%	A	56.80%	目標にはあと一歩届かなかった。若い世代から関心がもてるよう、引き続き普及啓発をおこなっていく。	健康管理支援課	◎

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	歯・口腔 の健康
10	スカリン相談会オンライン相談会実施回数	12回	12回	A	12回	乳幼児の保護者等を対象に相談会を実施いたしました。 引き続き実施します。	地域健康課	◎
11	妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、訪問の実施率	100%	100%	A	100%	妊娠期から子育て期まで必要に応じて訪問や電話等で継続支援をしました。引き続き、切れ目ない支援を実施します。	地域健康課	○
12	妊娠期からの各種教室の実施回数	64回	64回	A	64回	計画とおりに開催できました。 教室の周知に努め引き続き実施します。	地域健康課	○
13	子育て期の各種教室の実施回数	241回	240回	A	229回	実績を踏まえ、教室実施回数を適正化し、より内容の充実をしています。	地域健康課	○
14	地域からの依頼による健康教育の実施回数	36回	36回	A	-	地域からの要望に今後も応え、実施します。	地域健康課	○
15	公立保育園で毎日の給食時に保育士等による食指導および共食の実施園数	8園	8園	A	7園	引き続き実施します。	子育て支援課	○
16	公立保育園での健診の実施回数	各園 0～2歳児隔月 3～5歳児3回	各園 0～2歳児隔月 3～5歳児3回	A	各園 0～2歳児隔月 3～5歳児3回	引き続き実施します。	子育て支援課	○
17	小学校での歯科巡回教室の開催回数	市立小学校全クラス実施	市立小学校全クラス実施	A	市立小学校全クラス実施	本事業について、小学校の全クラスで行うことで、毎年度自分の歯について考える機会があることは、健康増進の観点においても有効である。来年度も継続して取り組んでいく。	保健体育課	◎
18	コミュニティセンターにおける各種講座の実施数	74講座	74講座	A	-	今後も継続して、関連する講座の実施を目指す	地域コミュニティ支援課	○
19	喫煙防止教室の実施	2校	2校	A	2校	実施後のアンケート結果より、喫煙のリスクへの理解が深まっていることも確認ができた。引き続き依頼に応じて実施していく。	健康増進課	○
20	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	22回	A	22回	関係団体への周知を強化し、働きざかり世代への健康教育を実施したため令和6年度と比較し増加した。令和8年度も引き続き実施するが、ニーズや現状把握が必要であるため、目標の実施回数は維持とした。	健康増進課	○
21	一般健康相談の満足度	90%	100%	A	100%	18人に対して実施し、アンケート結果より満足度は100%であった。引き続き丁寧に相談対応を行い、行動変容につながるよう満足度の高い健康相談を実施していく。	健康増進課	○
22	後期高齢者を対象にした保健事業で日常生活圏域の事業実施(圏域数)	10圏域	10圏域	A	10圏域	引き続き市内全域10圏域で実施していく。低栄養(口腔リスク・身体的フレイルリスク含む)、健康状態不明者へのアプローチに加え、令和8年度は重症化予防事業も行い、ハイリスク者への個別支援を行う。	健康増進課	○
23	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	13団体	13団体	A	13団体	目標達成することができた。令和8年度は組織変更に伴い、健康福祉センター主体で実施していく。	健康増進課	○
24	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	321人	B	440人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。栄養教室について、参加人数の枠を増やして実施する。	健康増進課	○

健康推進プランよこすか事業計画一覧

◎…主な取り組み事業
○…関連する事業

⑦ がん

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価する ための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	がん
1	がん検診初診者数	25,000人	22,495人	B	23,000人	目標値に向け、引き続き継続していく	健康管理支援課	◎
2	がん検診無料クーポン券の発送件数	12,500件	13,453件	A	26,550件	令和8年度より無料クーポン券を拡充しているため件数を増加。 引き続き効果的な勧奨の実施を行っていく	健康管理支援課	◎
3	がんの精密検査未受診勧奨実施件数	1,150件	1,421件	A	1,030件	未受診者が少しでも減るよう対策をたてていく	健康管理支援課	◎
4	市のホームページ等にごがん検診実施医療機関 情報(日曜診療等)の掲載医療機関件数	150件	172件	A	150件	引き続き医療機関と情報共有を行いながら実施していく	健康管理支援課	◎
5	中学2年生を対象としたピロリ菌検査及び除 菌治療の一次検査受診率	90%	90.82%	A	90%	今回の高い受診率の維持に今後も努める	健康管理支援課	○
6	市民健診講演会実施回数	1回	1回	A	1回	引き続きより良い方法での実施を模索していく	健康管理支援課	○
7	健診センターの休日健診実施回数	3回	3回	A	3回	休日健診の希望者もいるため継続していく	健康管理支援課	○
8	健診センターにおける生活習慣病の予防と改 善を目的とした結果説明会実施回数	11回	11回	A	11回	引き続き希望者に対して実施していく	健康管理支援課	○
9	集団健康教育の参加率	60%	60.8%	A	—	参加率は令和6年度と比較し増加したが、これは定員を減らしたためであり参加 者人数は増加していない。また、参加者の多くが65歳以上であり、介護予防教 室と参加者層が重なっている。これらの状況を鑑み、生活習慣病予防講座は令 和8年度は実施せず、働きざかり世代へのアプローチとして職域での健康教育 を強化していく。	健康増進課	○
10	健康教育に関する講演会の参加率	70%	80%	A	80%	事業実施にあたり、健康福祉センターと協力して実施していく。より市民に近い 目線での内容検討を行い、参加率を維持していく。	健康増進課	○
11	喫煙防止教室の実施	2校	2校	A	2校	実施後のアンケート結果より、喫煙のリスクへの理解が深まっていることも確認 ができた。引き続き依頼に応じて実施していく。	健康増進課	○
12	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	22回	A	22回	関係団体への周知を強化し、働きざかり世代への健康教育を実施したため令和 6年度と比較し増加した。令和8年度も引き続き実施するが、ニーズや現状把握 が必要であるため、目標の実施回数は維持としたい。	健康増進課	○
13	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及 啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	13団体	13団体	A	13団体	目標達成することができた。令和8年度は組織変更に伴い、健康福祉センター主 体で実施していく。	健康増進課	○
14	介護予防に関する知識の普及のための教室等 の教室参加者数(栄養・運動)	400人	321人	B	440人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。 栄養教室について、参加人数の枠を増やして実施する。	健康増進課	○

健康推進プランよこすか事業計画一覧

◎・・・主な取り組み事業

○・・・関連する事業

⑧ 循環器病・糖尿病

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	循環器病・ 糖尿病
1	歯周病検診受診率	12.1%	11.1%	A	12.5%	若い世代の受診者が少ない点が課題です。今後は20歳を含む若年層への周知・受診勧奨を重点的に強化するとともに、関係機関と連携した情報提供等により受診しやすい環境づくりを進め、受診率の向上を図っていきます。	健康管理支援課	○
2	妊婦歯科検診受診率	32.0%	25.3%	B	35.0%	妊娠中は口腔環境が変化しやすく、早期の受診が重要であることから、引き続き周知・受診勧奨を強化していきます。また、令和8年度から妊婦歯科検診受診券を母子健康手帳別冊に綴り込む運用としたことで、妊娠中に受ける健診の一つとして認識され、受診につながることが期待されます。今後も関係機関と連携しながら一層の周知徹底を図り、受診率の向上を目指します。	健康管理支援課	○
3	後期高齢者健康診査受診率	25%	24.10%	A	24%	受診率が向上するよう対策をしていく、目標は再興プランに合わせ修正した	健康管理支援課	◎
4	医療保険非該当者の保健指導実施人数	10人	7人	B	10人	引き続き継続していく	健康管理支援課	○
5	後期高齢者健康診受診勧奨通知の発送数	73,000通	73,270通	A	76,100通	対象者は増加し続けている。効果的な勧奨の実施を行っていく	健康管理支援課	◎
6	市のホームページ等に健診実施医療機関情報(日曜診療等)の掲載医療機関件数	150件	172件	A	150件	引き続き医療機関と情報共有を行いながら実施していく	健康管理支援課	◎
7	健診センター特定健診受診者数 (40歳～74歳の国民健康保険・社会保険の被保険者)	2,669人	2,912人	A	3,081人	引き続き微増する目標値に向け事業を安定的に継続していく	健康管理支援課	◎
8	健診センターの休日健診実施回数	3回	3回	A	3回	休日健診の希望者もいるため継続していく	健康管理支援課	◎
9	健診センターにおける生活習慣病の予防と改善を目的とした結果説明会実施回数	11回	11回	A	11回	引き続き希望者に対して実施していく	健康管理支援課	○
10	毎月市のホームページに市民健診実施医療機関情報を掲載	11回	11回	A	11回	引き続き掲載内容を適宜更新、掲載していく	健康管理支援課	◎
11	特定健診受診率 (国民健康保険加入の40～74歳が対象)	34.0%	実績は10月以降に確定		35.0%	20.6%(令和8年2月時点の速報値) 前年同時期と比較すると0.5ポイント伸びている	健康管理支援課	◎
12	特定保健指導実施率	16.0%	実績は10月以降に確定		17.0%	0.1%(令和8年2月時点の速報値) 前年同時期と同レベル。実績は今後伸びてくる見込み。	健康管理支援課	○
13	特定健康診査の結果、血圧のリスク者への受診勧奨後の医療機関受診率	38.5%	17.7%	D	38.5%	令和6年度までは、月次で対象者を抽出していたが、令和7年度から年次で対象者を抽出するスキームに変更。健診結果を見て、自発的に受診する方が、対象に含まれなくなったことにより、表面的には受診率が全体的に低下した。目標値はデータヘルス計画中間評価(令和8年度中)に再検討予定	健康増進課	○
14	特定健康診査の結果、血糖のリスク者への受診勧奨後の医療機関受診率	38.5%	20.5%	D	38.5%		健康増進課	○
15	特定健康診査の結果、脂質のリスク者への受診勧奨後の医療機関受診率	38.5%	17.9%	D	38.5%		健康増進課	○

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	循環器病・ 糖尿病
16	特定健康診査の結果、腎臓のリスク者への受診勧奨後の専門医療機関受診率	51.7%	実績は8月以降に確定		51.9%	令和7年度実績は8月以降に判明予定	健康管理支援課	○
17	集団健康教育の参加率	60%	60.8%	A	－	参加率は令和6年度と比較し増加したが、これは定員を減らしたためであり参加者人数は増加していない。また、参加者の多くが65歳以上であり、介護予防教室と参加者層が重なっている。これらの状況を鑑み、生活習慣病予防講座は令和8年度は実施せず、働きざかり世代へのアプローチとして職域での健康教育を強化していく。	健康増進課	○
18	健康教育に関する講演会の参加率	70%	80%	A	80%	事業実施にあたり、健康福祉センターと協力して実施していく。より市民に近い目線での内容検討を行い、参加率を維持していく。	健康増進課	○
19	喫煙防止教室の実施	2校	2校	A	2校	実施後のアンケート結果より、喫煙のリスクへの理解が深まっていることも確認ができた。引き続き依頼に応じて実施していく。	健康増進課	○
20	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	22回	A	22回	関係団体への周知を強化し、働きざかり世代への健康教育を実施したため令和6年度と比較し増加した。令和8年度も引き続き実施するが、ニーズや現状把握が必要であるため、目標の実施回数は維持としたい。	健康増進課	○
21	ヘルスメイト委託事業参加者数	280人	419人	A	320人	実績値の根拠は、保育園の講話(343人)、講話と調理実習(76人)	健康増進課	○
22	食育推進キャンペーンの参加者数	-	未実施		522人	令和8年度は食育単体で実施予定	健康増進課	○
23	巡回指導を行った給食施設数	54施設	60施設	A	55施設	事業所への巡回指導を順調に実施することができた。	健康増進課	○
24	特定給食施設講演会参加施設数	77施設	90施設	A	80施設	テーマが時勢的によく参加施設数が増えた。 ハイブリットでの実施は好評。今後も継続する。	健康増進課	○
25	一般健康相談の満足度	90%	100%	A	100%	18人に対して実施し、アンケート結果より満足度は100%であった。引き続き丁寧に相談対応を行い、行動変容につながるよう満足度の高い健康相談を実施していく。	健康増進課	○
26	後期高齢者を対象にした保健事業で日常生活圏域の事業実施(圏域数)	10圏域	10圏域	A	10圏域	引き続き市内全域10圏域で実施していく。低栄養(口腔リスク・身体的フレイルリスク含む)、健康状態不明者へのアプローチに加え、令和8年度は重症化予防事業も行い、ハイリスク者への個別支援を行う。	健康増進課	○
27	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	13団体	13団体	A	13団体	目標達成することができた。 令和8年度は組織変更に伴い、健康福祉センター主体で実施していく。	健康増進課	○
28	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	321人	B	440人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。 栄養教室について、参加人数の枠を増やして実施する。	健康増進課	○

健康推進プランよこすか事業計画一覧

◎…主な取り組み事業
○…関連する事業

⑨ 食育の推進

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	食育の推進
1	妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、訪問の実施率	100%	100%	A	100%	妊娠期から子育て期まで必要に応じて訪問や電話等で継続支援をしました。引き続き、切れ目ない支援を実施します。	地域健康課	○
2	妊娠期からの各種教室の実施回数	64回	64回	A	64回	計画とおりに開催できました。教室の周知に努め引き続き実施します。	地域健康課	○
3	子育て期の各種教室の実施回数	241回	240回	A	229回	実績を踏まえ、教室実施回数を適正化し、より内容の充実をしていきます。	地域健康課	○
4	地域からの依頼による健康教育の実施回数	36回	36回	A	-	地域からの要望に今後も応え、実施します。	地域健康課	○
5	生後4カ月までの乳児の養育環境の把握率	100%	100%	A	100%	保健師や助産師が、新生児・乳児家庭訪問を行い、訪問できなかった家庭は面接等を実施し、全数把握に努めました。今後も、継続して実施します。	地域健康課	○
6	公立保育園での食育パフォーマンスの実施回数	16回	9回	D	8回	令和7年度は、各園で「食品ロス」について、更に、中央こども園で「食育シアター」を実施しました。五感を使った参加型の講話を引き続き実施します。	子育て支援課	◎
7	市内保育園等98施設に食事のおたよりの配布回数	12回	12回	A	12回	「食事の大切さ」の啓発として、引き続き実施します。	子育て支援課	○
8	公立保育園にて食育講話の実施回数	96回	96回	A	84回	「食事の大切さ」の啓発として、引き続き実施します。	子育て支援課	○
9	公立保育園で毎日の給食時に保育士等による食指導および共食の実施園数	8園	8園	A	7園	引き続き実施します。	子育て支援課	○
10	公立保育園で園内菜園の実施園数	8園	8園	A	7園	園児が野菜等をきっかけに興味を持てるよう引き続き実施します。	子育て支援課	◎
11	学校食育研修講座の参加率	95%	75%	B	95%	食に関する指導をテーマに実施しました。令和8年度は、学校におけるアレルギー疾患への対応をテーマに行います。受講者の糧となるよう、計画立案していきます。	学校食育課	◎
12	小・中・ろう学校への献立表とセンター通信発信回数	17回	17回	A	17回	給食だより等による食育の普及啓発を目指して、引き続き実施します。	学校食育課	◎
13	「食に関する指導の全体計画」の実行	100%	100%	A	100%	関係部署と連携を取りながら、目標の達成を目指します。	学校食育課	○
14	「給食時間マニュアル」に基づいた給食指導の実践学校数	69校	69校	A	69校		学校食育課	◎
15	関連各教科における食に関する指導（栄養教諭等の活用も含め）の実践学校数	69校	69校	A	69校		学校食育課	◎
16	給食センターにおける食育講座の実施回数	20回	25回	A	20回	引き続き、実施していきます。	学校食育課	◎
17	食のセミナーおよび食品衛生講習会開催数	食のセミナー1回、食品衛生講習会5回	食のセミナー1回、食品衛生講習会5回	A	-	引き続き食のセミナー1回、食品衛生講習会は要望に応じて実施予定です。	保健所生活衛生課	◎
18	子どもごみ教室(小・中・高校生対象)及びごみトーク(出前トーク、町内会等対象)の実施回数	9回	9回	A	9回	R7年度も引き続き、対象を園児まで広げ、主に公立保育園での啓発に力を入れました。公立保育園全園で啓発授業を実施したほか、公立小学校1校で食品ロスに関する授業を実施しました。	廃棄物対策課	◎

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	食育の推進
19	食品ロス削減のポスター等の配布数	10枚	10枚	A	-	引き続き出前トーク等での配布を継続します。	廃棄物対策課	◎
20	コミュニティセンターにおける各種講座の実施数	74講座	74講座	A	-	今後も継続して、関連する講座の実施を目指す	地域コミュニティ支援課	○
21	農業交流促進事業の実施校数（児童対象）	3校	2校	C	3校	目標の達成には届きませんでしたが、3校を目標に引き続き事業を実施します。	農水産振興課	◎
22	食糧支援延べ人数	1974人	1,974人	A	—	食料を必要としている方に支援することで、食育の推進のうち食品ロスの削減に寄与している。	地域福祉課	◎
23	集団健康教育の参加率	60%	60.8%	A	—	参加率は令和6年度と比較し増加したが、これは定員を減らしたためであり参加者人数は増加していない。また、参加者の多くが65歳以上であり、介護予防教室と参加者層が重なっている。これらの状況を鑑み、生活習慣病予防講座は令和8年度は実施せず、働きざかり世代へのアプローチとして職域での健康教育を強化していく。	健康増進課	○
24	健康教育に関する講演会の参加率	70%	80%	A	80%	事業実施にあたり、健康福祉センターと協力して実施していく。より市民に近い目線での内容検討を行い、参加率を維持していく。	健康増進課	○
25	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	22回	A	22回	関係団体への周知を強化し、働きざかり世代への健康教育を実施したため令和6年度と比較し増加した。令和8年度も引き続き実施するが、ニーズや現状把握が必要であるため、目標の実施回数は維持としたい。	健康増進課	○
26	ヘルスメイト委託事業参加者数	280人	419人	A	320人	実績値の根拠は、保育園の講話(343人)、講話と調理実習(76人)	健康増進課	◎
27	食育に関する教室等の講習会参加率	70%	93%	A	70%	実績値の根拠は、魚のさばき方教室(申込16人参加15人)、食育推進調理実習(申込40人、参加38人)	健康増進課	◎
28	食育関係団体との連携数	310機関	311機関	A	315機関	実績値の根拠はE表示協力店(300)+新規登録店(3)+ヘルスメイトよこすか、神奈川県立保健福祉大学、商工会議所、JA、食品衛生協会、イオン、キュービー、味の素(8)。今後も広く連携し、累積して目標を達成していく。	健康増進課	○
29	食育推進キャンペーンの参加者数	-	未実施		522人	令和8年度は食育単体で実施予定	健康増進課	◎
30	巡回指導を行った給食施設数	54施設	60施設	A	55施設	事業所への巡回指導を順調に実施することができた。	健康増進課	○
31	特定給食施設講演会参加施設数	77施設	90施設	A	80施設	テーマが時勢的によく参加施設数が増えた。 ハイブリットでの実施は好評。今後も継続する。	健康増進課	○
32	一般健康相談の満足度	90%	100%	A	100%	18人に対して実施し、アンケート結果より満足度は100%であった。引き続き丁寧に相談対応を行い、行動変容につながるよう満足度の高い健康相談を実施していく。	健康増進課	○
33	後期高齢者を対象にした保健事業で日常生活圏域の事業実施(圏域数)	10圏域	10圏域	A	10圏域	引き続き市内全域10圏域で実施していく。低栄養(口腔リスク・身体的フレイルリスク含む)、健康状態不明者へのアプローチに加え、令和8年度は重症化予防事業も行い、ハイリスク者への個別支援を行う。	健康増進課	○
34	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	13団体	13団体	A	13団体	目標達成することができた。 令和8年度は組織変更に伴い、健康福祉センター主体で実施していく。	健康増進課	○
35	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	321人	B	440人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。 栄養教室について、参加人数の枠を増やして実施する。	健康増進課	○
36	介護予防サポーター、フレイルサポーター養成数(介護予防・フレイル)	100人	87人	B	100人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。	健康増進課	○

⑩ 心身の生活機能の維持・向上

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	心身の生活機能の 維持・向上
1	骨密度検診受診者数	1,865人	2,910人	A	1,640人	令和7年度は受診率が大幅に想定を上回り、結果として予算を超過した。 令和9年度の目標(予算)については、令和8年度の実績に基づき必要な見直しを行い、適正な水準に修復(調整)していく。	健康管理支援課	◎
2	外部講師を活用したがん教育開催回数	市立小学校1校 市立中学校1校	市立小学校1校 市立中学校2校	A	市立小学校1校 市立中学校1校	本事業については、小学校1校及び中学校1校を市の公開授業として実施した。参加された先生方と協議することができた。特に今年度は養護教諭の参加もあり、校内での今後の広がりが期待できる。	保健体育課	○
3	薬物乱用防止(啓発)教室の開催回数	市立小学校34校 市立中学校及び特別支援学校11校 合計45校	市立小学校34校 市立中学校及び特別支援学校11校 合計45校	A	市立小学校36校 市立中学校及び特別支援学校23校	専門的な外部講師を活用することで、教育効果の高い学習を行うことができた。来年度も継続して取り組んでいく。	保健体育課	○
4	小学校での歯科巡回教室の開催回数	市立小学校全クラス実施	市立小学校全クラス実施	A	市立小学校全クラス実施	本事業について、小学校の全クラスで行うことで、毎年度自分の歯について考える機会があることは、健康増進の観点においても有効である。来年度も継続して取り組んでいく。	保健体育課	○
5	職域との連携による健康教育の実施回数	1回	1回	A	1回	鎌倉保健福祉事務所、鎌倉保健福祉三崎センター、労働基準監督署、横須賀市保健所合同で研修会を実施。	保健所保健予防課	○
6	相談することの大切さについてのポスター配布数	2,000枚	2,000枚	A	2,000枚	毎年9月、3月に自殺予防週間、月間に合わせて啓発ポスターを作成し関係機関に配布。	保健所保健予防課	○
7	精神保健対策事業における相談機関を掲載した冊子・カードの配布数	14,000枚	14,000枚	A	14,000枚	行政機関を中心に、福祉施設、病院、学校等相談冊子を配布。	保健所保健予防課	○
8	精神保健対策事業におけるホームページ上に掲載する相談機関数	125機関	137機関	A	125機関	複数の悩みを抱えた方に対応できるよう様々な相談窓口をまとめた冊子を作成・配布。	保健所保健予防課	○
9	自殺対策キャンペーンの実施回数	2回	2回	A	2回	9月と3月の各1日に、昼の部と夜の部で実施。	保健所保健予防課	○
10	こころの病気に視点をとおいた健康づくり教室の実施回数	3回	3回	A	3回	精神障害に対する偏見や誤った対応をなくすために、こころの健康づくりに対する研修を実施。	保健所保健予防課	○
11	精神保健対策事業における講演会・研修会及び地域からの依頼による教室の実施回数	1回	4回	A	1回	家族会・包括支援センター、施設等において実施。	保健所保健予防課	○

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	心身の生 活機能の 維持・向上
12	夏休みのラジオ体操カード配布数	10,890枚	10,290枚	A	10,890枚	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
13	夏休みのラジオ体操精進賞表彰数	10,069枚	9,350枚	A	10,069枚		スポーツ振興課	○
14	学校体育施設の地域住民等への開放実施校数	67校	67校	A	67校	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
15	市民スポーツ教室数	20教室	19教室	A	20教室	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
16	参加率50%以上のスポーツ教室数	15教室	14教室	A	15教室		スポーツ振興課	○
17	コミュニティセンターにおける各種講座の実施数	74講座	74講座	A	-	今後も継続して、関連する講座の実施を目指す	地域コミュニティ支援課	○
18	集団健康教育の参加率	60%	60.8%	A	-	参加率は令和6年度と比較し増加したが、これは定員を減らしたためであり参加者人数は増加していない。また、参加者の多くが65歳以上であり、介護予防教室と参加者層が重なっている。これらの状況を鑑み、生活習慣病予防講座は令和8年度は実施せず、働きざかり世代へのアプローチとして職域での健康教育を強化していく。	健康増進課	○
19	健康教育に関する講演会の参加率	70%	80%	A	80%	事業実施にあたり、健康福祉センターと協力して実施していく。より市民に近い目線での内容検討を行い、参加率を維持していく。	健康増進課	○
20	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	22回	A	22回	関係団体への周知を強化し、働きざかり世代への健康教育を実施したため令和6年度と比較し増加した。令和8年度も引き続き実施するが、ニーズや現状把握が必要であるため、目標の実施回数は維持としたい。	健康増進課	○
21	ラジオ体操登録団体数	100団体	82団体	B	100団体	登録団体へは引き続きサポートを行う。	健康増進課	○
22	健康アプリ利用者数	7,000人	8,565人	A	-	ポイント付与のキャンペーンを実施し利用者数が増加したが、その後は多くの人が継続していないことがアクティブ率より読み取れ、事業の継続性は難しく、令和7年度で事業終了。	健康増進課	○
23	後期高齢者を対象にした保健事業で日常生活圏域の事業実施(圏域数)	10圏域	10圏域	A	10圏域	引き続き市内全域10圏域で実施していく。低栄養(口腔リスク・身体的フレイルリスク含む)、健康状態不明者へのアプローチに加え、令和8年度は重症化予防事業も行い、ハイリスク者への個別支援を行う。	健康増進課	○
24	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	13団体	13団体	A	13団体	目標達成することができた。令和8年度は組織変更に伴い、健康福祉センター主体で実施していく。	健康増進課	◎
25	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	321人	B	440人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。 栄養教室について、参加人数の枠を増やして実施する。	健康増進課	◎
26	地域型介護予防教室(委託)回数	240回	170回	B	240回	引き続き、地域包括支援センターとの様々な会議体を通して、目標達成に向けて働きかける。	健康増進課	◎

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	心身の生 活機能の 維持・向上
27	地域リハビリテーション活動支援事業における専門職派遣事業の実施団体数	6団体	4団体	C	6団体	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。	健康増進課	○

健康推進プランよこすか事業計画一覧

◎…主な取り組み事業

○…関連する事業

⑪ 社会とのつながりの維持・向上

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	社会とのつながりの維持・向上
1	精神保健対策事業における講演会・研修会及び地域からの依頼による教室の実施回数	1回	4回	A	1回	家族会・包括支援センター、施設等において実施。	保健所保健予防課	○
2	学校へのスポーツ推進委員の派遣人数	20人	56人	A	20人	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
3	スポーツフェスタの来場者数	5,000人	10,800人	A	5,000人	今後も引き続き開催していく。	スポーツ振興課	○
4	夏休みのラジオ体操カード配布数	10,890枚	10,290枚	A	10,890枚	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
5	夏休みのラジオ体操精進賞表彰数	10,069枚	9,350枚	A	10,069枚		スポーツ振興課	○
6	学校体育施設の地域住民等への開放実施校数	67校	67校	A	67校	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
7	市民スポーツ教室数	20教室	19教室	A	20教室	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
8	参加率50%以上のスポーツ教室数	15教室	14教室	A	15教室		スポーツ振興課	○
9	コミュニティセンターにおける各種講座の実施数	74講座	74講座	A	-	今後も継続して、関連する講座の実施を目指す	地域コミュニティ支援課	○
10	市民大学年間講座実施総数	74講座	74講座	A	50講座	市民大学をはじめ、各講座とも受講者に好評で多くの参加を得ている。今後も積極的に広報し、受講者増に繋げたい。	生涯学習課	○
11	集団健康教育の参加率	60%	60.8%	A	-	参加率は令和6年度と比較し増加したが、これは定員を減らしたためであり参加者人数は増加していない。また、参加者の多くが65歳以上であり、介護予防教室と参加者層が重なっている。これらの状況を鑑み、生活習慣病予防講座は令和8年度は実施せず、働きざかり世代へのアプローチとして職場での健康教育を強化していく。	健康増進課	○
12	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	22回	A	22回	関係団体への周知を強化し、働きざかり世代への健康教育を実施したため令和6年度と比較し増加した。令和8年度も引き続き実施するが、ニーズや現状把握が必要であるため、目標の実施回数は維持としたい。	健康増進課	○
13	ラジオ体操登録団体数	100団体	82団体	B	100団体	登録団体へは引き続きサポートを行う。	健康増進課	◎
14	ヘルスメイト会員数	40人	48人	A	45人	目標を達成することはできたが、その後8名の退会者がでたことで現状会員数は40人となっている。養成講座参加者数の増加のために引き続き周知等に力を入れたい。	健康増進課	◎
15	ヘルスメイト委託事業参加者数	280人	419人	A	320人	実績値の根拠は、保育園の講話(343人)、講話と調理実習(76人)	健康増進課	○

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	社会とのつ ながりの維 持・向上
16	食育関係団体との連携数	310機関	311機関	A	315機関	実績値の根拠はE表示協力店(300)+新規登録店(3)+ヘルスメイトよこすか、神奈川県立保健福祉大学、商工会議所、JA、食品衛生協会、イオン、キューピー、味の素(8)。今後も広く連携し、累積して目標を達成していく。	健康増進課	○
17	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	13団体	13団体	A	13団体	目標達成することができた。令和8年度は組織変更に伴い、健康福祉センター主体で実施していく。	健康増進課	○
18	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	321人	B	440人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。栄養教室について、参加人数の枠を増やして実施する。	健康増進課	○
19	介護予防サポーター、フレイルサポーター養成数(介護予防・フレイル)	100人	87人	B	100人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。	健康増進課	◎
20	地域型介護予防教室(委託)回数	240回	170回	B	240回	引き続き、地域包括支援センターとの様々な会議体を通して、目標達成に向けて働きかける。	健康増進課	○
21	地域リハビリテーション活動支援事業における専門職派遣事業の実施団体数	6団体	4団体	C	6団体	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。	健康増進課	○

⑫ 自然に健康になれる環境づくり

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	自然に健康 になれる環 境づくり
1	スポーツフェスタの来場者数	5,000人	10,800人	A	5,000人	今後も引き続き開催していく。	スポーツ振興課	○
2	夏休みのラジオ体操カード配布数	10,890枚	10,290枚	A	10,890枚	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	◎
3	夏休みのラジオ体操精進賞表彰数	10,069枚	9,350枚	A	10,069枚		スポーツ振興課	◎
4	学校体育施設の地域住民等への開放実施校数	67校	67校	A	67校	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	◎
5	体育会館等の修繕箇所数	3箇所	3箇所	A	3箇所	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
6	コミュニティセンターにおける各種講座の実施数	74講座	74講座	A	-	今後も継続して、関連する講座の実施を目指す	地域コミュニティ 支援課	○
7	熱中症予防対策の協力施設数	200施設	224施設	A	230施設	引き続き、昨年度より参加施設数の増加を目指す。	健康増進課	○
8	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	22回	A	22回	関係団体への周知を強化し、働きざかり世代への健康教育を実施したため令和6年度と比較し増加した。令和8年度も引き続き実施するが、ニーズや現状把握が必要であるため、目標の実施回数は維持としたい。	健康増進課	○
9	ラジオ体操登録団体数	100団体	82団体	B	100団体	登録団体へは引き続きサポートを行う。	健康増進課	◎
10	食育関係団体との連携数	310機関	311機関	A	315機関	実績値の根拠はE表示協力店(300)+新規登録店(3)+ヘルスメイトよこすか、神奈川県立保健福祉大学、商工会議所、JA、食品衛生協会、イオン、キューピー、味の素(8)。今後も広く連携し、累積して目標を達成していく。	健康増進課	○
11	巡回指導を行った給食施設数	54施設	60施設	A	55施設	事業所への巡回指導を順調に実施することができた。	健康増進課	○
12	特定給食施設講演会参加施設数	77施設	90施設	A	80施設	テーマが時勢的によく参加施設数が増えた。ハイブリットでの実施は好評。今後も継続する。	健康増進課	○
13	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	13団体	13団体	A	13団体	目標達成することができた。令和8年度は組織変更に伴い、健康福祉センター主体で実施していく。	健康増進課	○
14	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	321人	B	440人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。栄養教室について、参加人数の枠を増やして実施する。	健康増進課	○
15	介護予防サポーター、フレイルサポーター養成数(介護予防・フレイル)	100人	87人	B	100人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。	健康増進課	○

⑬ 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤整備

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	誰もがアクセスできる健康増進のための基盤整備
1	スポーツフェスタの来場者数	5,000人	10,800人	A	5,000人	今後も引き続き開催していく。	スポーツ振興課	○
2	事業所への広報誌「New Wave vol.59」配布数 (商工会議所会報に折込で配布)	-	・横須賀市のホームページで健康経営について周知している。 (横須賀商工会議所のページと連動) ・事業所アンケート調査で、健康課題についての設問を設け、行政に望むこと等について現状把握した。	-	-	経済部と横須賀商工会議所と連携し、周知啓発を継続する。	人権・ダイバーシティ推進課	◎
3	健康アプリ利用者数	7,000人	8,565人	A	-	ポイント付与のキャンペーンを実施し利用者数が増加したが、その後は多くの人が継続していないことがアクティブ率より読み取れ、事業の継続性は難しく、令和7年度で事業終了。	健康増進課	○
4	巡回指導を行った給食施設数	54施設	60施設	A	55施設	事業所への巡回指導を順調に実施することができた。	健康増進課	◎
5	特定給食施設講演会参加施設数	77施設	90施設	A	80施設	テーマが時勢的によく参加施設数が増えた。ハイブリットでの実施は好評。今後も継続する。	健康増進課	◎

健康推進プランよこすか事業計画一覧

◎・・・主な取り組み事業

○・・・関連する事業

⑭ 子ども（～17歳）

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	子ども ～17歳
1	集団フッ化物洗口講習会参加園数	25園	26園	A	27園	歯みがき教室実施時に講演会やフッ化物洗口事業について周知を図りました。歯科医師会と連絡会においても参加を依頼し、引き続き目標達成に向け取り組みます。	地域健康課	○
2	2歳6カ月児の歯科健康診受診率	52.9%	46.7%	B	60.0%	2歳6か月頃は乳歯が生えそろう時期であり、むし歯予防や保護者による仕上げみがき等の生活習慣づくりに重要です。また、生涯にわたってかかりつけ歯科医をもち、定期的に歯科健診を受ける習慣を身につけるうえでも大切な時期であることから、対象者への案内(市公式SNSの活用)や受診しやすい環境づくりを検討し、受診率の向上を図ります。あわせて、昨年度より市立園のご協力をいただき、対象児が在籍するクラスの保護者向けに、健診案内の掲示を行っています。	健康管理支援課	○
3	乳幼児歯科健康教室実施回数	24回	24回	A	24回	計画を達成することができました。引き続き実施します。	地域健康課	○
4	歯みがき教室実施希望園の実施率	100%	100%	A	100%	計画とおりに実施した。歯みがき教室の周知に努め引き続き実施します。	地域健康課	○
5	小学校歯科巡回教室の実施率	100%	100%	A	100%	市立小学校44校、ろう学校、養護学校において歯みがき教室を実施し、計画を達成しました。令和6年度からは歯みがきの実技指導も再開し、前年度に学んだ内容を覚えている児童も多く見られました。今後も、各学年に応じた内容とし、PC等も活用した工夫を行いながら、引き続き歯みがき教室を実施してまいります。	健康増進課	○
6	スカリン相談会オンライン相談会実施回数	12回	12回	A	12回	乳幼児の保護者等を対象に相談会を実施いたしました。引き続き実施します。	地域健康課	○
7	中学2年生を対象としたピロリ菌検査及び除菌治療の一次検査受験率	90%	90.82%	A	90%	今回の高い受検率の維持に今後も努める	健康管理支援課	○
8	妊娠期から子育て期における乳幼児健診、相談、訪問の実施率	100%	100%	A	100%	妊娠期から子育て期まで必要に応じて訪問や電話等で継続支援をしました。引き続き、切れ目ない支援を実施します。	地域健康課	○
9	妊娠期からの各種教室の実施回数	64回	64回	A	64回	計画とおりに開催できました。教室の周知に努め引き続き実施します。	地域健康課	○
10	母子健康手帳交付時の面接率	100%	100%	A	100%	引き続き交付時面接とアンケートを実施します。	地域健康課	○
11	子育て期の各種教室の実施回数	241回	240回	A	229回	実績を踏まえ、教室実施回数を適正化し、より内容の充実をしていきます。	地域健康課	○
12	地域からの依頼による健康教育の実施回数	36回	36回	A	-	地域からの要望に今後も応え、実施します。	地域健康課	○
13	生後4カ月までの乳児の養育環境の把握率	100%	100%	A	100%	保健師や助産師が、新生児・乳児家庭訪問を行い、訪問できなかった家庭は面接等を実施し、全数把握に努めました。今後も、継続して実施します。	地域健康課	○

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	子ども ～17歳
14	公立保育園での食育パフォーマンスの実施回数	16回	9回	D	8回	令和7年度は、各園で「食品ロス」について、更に、中央こども園で「食育シアター」を実施しました。五感を使った参加型の講話を引き続き実施します。	子育て支援課	○
15	市内保育園等98施設に食事のおたよりの配布回数	12回	12回	A	12回	「食事の大切さ」の啓発として、引き続き実施します。	子育て支援課	○
16	公立保育園にて食育講話の実施回数	96回	96回	A	84回	「食事の大切さ」の啓発として、引き続き実施します。	子育て支援課	○
17	公立保育園で毎日の給食時に保育士等による食指導および共食の実施園数	8園	8園	A	7園	引き続き実施します。	子育て支援課	○
18	公立保育園で園内菜園の実施園数	8園	8園	A	7園	園児が野菜等をきっかけに興味を持てるよう引き続き実施します。	子育て支援課	○
19	公立保育園での健診の実施回数	各園 0～2歳児隔月 3～5歳児3回	各園 0～2歳児隔月 3～5歳児3回	A	各園 0～2歳児隔月 3～5歳児3回	引き続き実施します。	子育て支援課	○
20	青少年相談事業における巡回指導での年間指導助言件数	302件	210件	C	245件	できる限り若者に声をかけ、「指導」や「助言」に関わらず、地域情報を考慮しながら地域の巡回を行う。	こども家庭支援課	○
21	非行防止講座実施回数	2回	2回	A	-	令和7年度は地区連合町内会及び地区青少年活動地域連絡会に向けて実施した。引き続き地域団体等への周知を行っていく。	こども家庭支援課	○
22	青少年健全育成協力店累計数	276店	276店	A	-	廃業する店舗が増加しているため減少した。情報発信や講座などの取り組みを総合的に検討する必要がある。	こども家庭支援課	○
23	外部講師を活用したがん教育開催回数	市立小学校1校 市立中学校1校	市立小学校1校 市立中学校2校	A	市立小学校1校 市立中学校1校	本事業については、小学校1校及び中学校1校を市の公開授業として実施した。参加された先生方と協議することができた。特に今年度は看護教諭の参加もあり、校内での今後の広がりが期待できる。	保健体育課	○
24	薬物乱用防止(啓発)教室の開催回数	市立小学校34校 市立中学校及び特別支援学校11校 合計45校	市立小学校34校 市立中学校及び特別支援学校11校 合計45校	A	市立小学校36校 市立中学校及び特別支援学校23校	専門的な外部講師を活用することで、教育効果の高い学習を行うことができた。来年度も継続して取り組んでいく。	保健体育課	○
25	小学校での歯科巡回教室の開催回数	市立小学校全クラス実施	市立小学校全クラス実施	A	市立小学校全クラス実施	本事業について、小学校の全クラスで行うことで、毎年度自分の歯について考える機会があることは、健康増進の観点においても有効である。来年度も継続して取り組んでいく。	保健体育課	○
26	学校食育研修講座の参加率	95%	75%	B	95%	食に関する指導をテーマに実施しました。令和8年度は、学校におけるアレルギー疾患への対応をテーマに行います。受講者の糧となるよう、計画立案していきます。	学校食育課	○
27	小・中・ろう学校への献立表とセンター通信発信回数	17回	17回	A	17回	給食だより等による食育の普及啓発を目指して、引き続き実施します。	学校食育課	○
28	「食に関する指導の全体計画」の実行	100%	100%	A	100%	関係部署と連携を取りながら、目標の達成を目指します。	学校食育課	○
29	「給食時間マニュアル」に基づいた給食指導の実践学校数	69校	69校	A	69校		学校食育課	○
30	関連各教科における食に関する指導(栄養教諭等の活用も含め)の実践学校数	69校	69校	A	69校		学校食育課	○
31	給食センターにおける食育講座の実施回数	20回	25回	A	20回	引き続き、実施していきます。	学校食育課	○

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	子ども ～17歳
32	相談することの大切さについてのポスター配布数	2,000枚	2,000枚	A	2,000枚	毎年9月、3月に自殺予防週間、月間に合わせて啓発ポスターを作成し関係機関に配布。	保健所保健予防課	○
33	精神保健対策事業における相談機関を掲載した冊子・カードの配布数	14,000枚	14,000枚	A	14,000枚	行政機関を中心に、福祉施設、病院、学校等相談冊子を配布。	保健所保健予防課	○
34	自殺対策キャンペーンの実施回数	2回	2回	A	2回	9月と3月の各1日に、昼の部と夜の部で実施。	保健所保健予防課	○
35	新体力テスト測定員講習会の参加人数	15人	15人	A	15人	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
36	スポーツフェスタの来場者数	5,000人	10,800人	A	5,000人	今後も引き続き開催していく。	スポーツ振興課	○
37	夏休みのラジオ体操カード配布数	10,890枚	10,290枚	A	10,890枚	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
38	夏休みのラジオ体操精進賞表彰数	10,069枚	9,350枚	A	10,069枚		スポーツ振興課	○
39	学校体育施設の地域住民等への開放実施校数	67校	67校	A	67校	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
40	市民スポーツ教室数	20教室	19教室	A	20教室	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
41	参加率50%以上のスポーツ教室数	15教室	14教室	A	15教室		スポーツ振興課	○
42	子どもごみ教室(小・中・高校生対象)及びごみトーク(出前トーク、町内会等対象)の実施回数	9回	9回	A	9回	R7年度も引き続き、対象を園児まで広げ、主に公立保育園での啓発に力を入れました。公立保育園全国で啓発授業を実施したほか、公立小学校1校で食品ロスに関する授業を実施しました。	廃棄物対策課	○
43	コミュニティセンターにおける各種講座の実施数	74講座	74講座	A	-	今後も継続して、関連する講座の実施を目指す	地域コミュニティ支援課	○
44	農業交流促進事業の実施校数(児童対象)	3校	2校	C	3校	目標の達成には届きませんでしたが、3校を目標に引き続き事業を実施します。	農水産振興課	○
45	市民大学年間講座実施総数	74講座	74講座	A	50講座	市民大学をはじめ、各講座とも受講者に好評で多くの参加を得ている。今後も積極的に広報し、受講者増に繋げたい。	生涯学習課	○
46	健康教育に関する講演会の参加率	70%	80%	A	80%	事業実施にあたり、健康福祉センターと協力して実施していく。より市民に近い目線での内容検討を行い、参加率を維持していく。	健康増進課	○
47	喫煙防止教室の実施	2校	2校	A	2校	実施後のアンケート結果より、喫煙のリスクへの理解が深まっていることも確認ができた。引き続き依頼に応じて実施していく。	健康増進課	○
48	熱中症予防対策の協力施設数	200施設	224施設	A	230施設	引き続き、昨年度より参加施設数の増加を目指す。	健康増進課	○
49	ラジオ体操登録団体数	100団体	82団体	B	100団体	登録団体へは引き続きサポートを行う。	健康増進課	○
50	ヘルスメイト委託事業参加者数	280人	419人	A	320人	実績値の根拠は、保育園の講話(343人)、講話と調理実習(76人)	健康増進課	○
51	食育関係団体との連携数	310機関	311機関	A	315機関	実績値の根拠はE表示協力店(300)+新規登録店(3)+ヘルスメイトよこすか、神奈川県立保健福祉大学、商工会議所、JA、食品衛生協会、イオン、キューピー、味の素(8)。今後も広く連携し、累積して目標を達成していく。	健康増進課	○
52	巡回指導を行った給食施設数	54施設	60施設	A	55施設	事業所への巡回指導を順調に実施することができた。	健康増進課	○

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための 指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	子ども ～17歳
53	特定給食施設講演会参加施設数	77施設	90施設	A	80施設	テーマが時勢的によく参加施設数が増えた。 ハイブリットでの実施は好評。今後も継続する。	健康増進課	○

⑮ 成人（18～64歳）

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	成人 18～64歳
1	集団フツ化物洗口講習会参加園数	25園	26園	A	27園	歯みがき教室実施時に講演会やフツ化物洗口事業について周知を図りました。歯科医師会と連絡会においても参加を依頼し、引き続き目標達成に向け取り組みます。	地域健康課	○
2	歯周病検診受診率	12.1%	11.1%	A	12.5%	若い世代の受診者が少ない点が課題です。今後は20歳を含む若年層への周知・受診勧奨を重点的に強化するとともに、関係機関と連携した情報提供等により受診しやすい環境づくりを進め、受診率の向上を図っていきます。	健康管理支援課	○
3	妊婦歯科検診受診率	32.0%	25.3%	B	35.0%	妊娠中は口腔環境が変化しやすく、早期の受診が重要であることから、引き続き周知・受診勧奨を強化していきます。また、令和8年度から妊婦歯科検診受診券を母子健康手帳別冊に綴り込む運用としたことで、妊娠中に受ける健診の一つとして認識され、受診につながる事が期待されます。今後も関係機関と連携しながら一層の周知徹底を図り、受診率の向上を目指します。	健康管理支援課	○
4	オーラルフレイル予防教室参加者数	360人	237人	C	360人	目標達成には至らなかった。引き続き教室実施の周知と参加者募集の方法を工夫し、計画達成に向け取り組む。	健康増進課	○
5	スカリン相談会オンライン相談会実施回数	12回	12回	A	12回	乳幼児の保護者等を対象に相談会を実施いたしました。引き続き実施します。	地域健康課	○
6	がん検診初診者数	25,000人	22,495人	B	23,000人	目標値に向け、引き続き継続していく	健康管理支援課	○
7	がん検診無料クーポン券の発送件数	12,500件	13,453件	A	26,550件	令和8年度より無料クーポン券を拡充しているため件数を増加。引き続き効果的な勧奨の実施を行っていく	健康管理支援課	○
8	がんの精密検査未受診勧奨実施件数	1,150件	1,421件	A	1,030件	未受診者が少しでも減るよう対策をたてていく	健康管理支援課	○
9	市のホームページ等にごがん検診実施医療機関情報（日曜診療等）の掲載医療機関件数	150件	172件	A	150件	引き続き医療機関と情報共有を行いながら実施していく	健康管理支援課	○
10	市民健診講演会実施回数	1回	1回	A	1回	引き続きより良い方法での実施を模索していく	健康管理支援課	○
11	医療保険非該当者の保健指導実施人数	10人	7人	B	10人	引き続き継続していく	健康管理支援課	○
12	骨密度検診受診者数	1,865人	2,910人	A	1,640人	令和7年度は受診率が大幅に想定を上回り、結果として予算を超過した。令和9年度の目標（予算）については、令和8年度の実績に基づき必要な見直しを行い、適正な水準に修復（調整）していく。	健康管理支援課	○
13	市のホームページ等に市民健診実施医療機関情報（日曜診療等）の掲載医療機関件数	150件	172件	A	150件	引き続き医療機関と情報共有を行いながら実施していく	健康管理支援課	○
14	健診センター特定健診受診者数（40歳～74歳の国民健康保険・社会保険の被保険者）	2,669人	2,912人	A	3,081人	引き続き微増する目標値に向け事業を安定的に継続していく	健康管理支援課	○
15	健診センターの休日健診実施回数	3回	3回	A	3回	休日健診の希望者もいるため継続していく	健康管理支援課	○
16	健診センターにおける生活習慣病の予防と改善を目的とした結果説明会実施回数	11回	11回	A	11回	引き続き希望者に対して実施していく	健康管理支援課	○
17	毎月市のホームページに健診実施医療機関情報を掲載	11回	11回	A	11回	引き続き掲載内容を適宜更新、掲載していく	健康管理支援課	○

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	成人 18～64歳
18	特定健診受診率 (国民健康保険加入の40～74歳が対象)	34.0%	実績は10月以降に確定		35.0%	20.6%(令和8年2月時点の速報値) 前年同時期と比較すると0.5ポイント伸びている	健康管理支援課	○
19	特定保健指導実施率	16.0%	実績は10月以降に確定		17.0%	0.1%(令和8年2月時点の速報値) 前年同時期と同レベル。実績は今後伸びてくる見込み。	健康管理支援課	○
20	特定健康診査の結果、血圧のリスク者への受診勧奨後の 医療機関受診率	38.5%	17.7%	D	38.5%	令和6年度までは、月次で対象者を抽出していたが、令和7年度から年次で対象者を抽出するスキームに変更。健診結果を見て、自発的に受診する方が、対象に含まれなくなったことにより、表面的には受診率が全体的に低下した。目標値はデータヘルス計画中間評価(令和8年度中)に再検討予定	健康増進課	○
21	特定健康診査の結果、血糖のリスク者への受診勧奨後の 医療機関受診率	38.5%	20.5%	D	38.5%		健康増進課	○
22	特定健康診査の結果、脂質のリスク者への受診勧奨後の 医療機関受診率	38.5%	17.9%	D	38.5%		健康増進課	○
23	特定健康診査の結果、腎臓のリスク者への受診勧奨後の 専門医療機関受診率	51.7%	実績は8月以降に確定		51.9%	令和7年度実績は8月以降に判明予定	健康管理支援課	○
24	妊娠期からの各種教室の実施回数	64回	64回	A	64回	計画とおりに開催できました。教室の周知に努め引き続き実施します。	地域健康課	○
25	母子健康手帳交付時の面接率	100%	100%	A	100%	引き続き交付時面接とアンケートを実施します。	地域健康課	○
26	子育て期の各種教室の実施回数	241回	240回	A	229回	実績を踏まえ、教室実施回数を適正化し、より内容の充実をしていきます。	地域健康課	○
27	地域からの依頼による健康教育の実施回数	36回	36回	A	-	地域からの要望に今後も応え、実施します。	地域健康課	○
28	生後4カ月までの乳児の養育環境の把握率	100%	100%	A	100%	保健師や助産師が、新生児・乳児家庭訪問を行い、訪問できなかった家庭は面接等を実施し、全数把握に努めました。今後も、継続して実施します。	地域健康課	○
29	職域との連携による健康教育の実施回数	1回	1回	A	1回	鎌倉保健福祉事務所、鎌倉保健福祉三崎センター、労働基準監督署、横須賀市保健所合同で研修会を実施。	保健所保健予防課	○
30	相談することの大切さについてのポスター配布数	2,000枚	2,000枚	A	2,000枚	毎年9月、3月に自殺予防週間、月間に合わせて啓発ポスターを作成し関係機関に配布。	保健所保健予防課	○
31	精神保健対策事業における相談機関を掲載した冊子・カードの配布数	14,000枚	14,000枚	A	14,000枚	行政機関を中心に、福祉施設、病院、学校等相談冊子を配布。	保健所保健予防課	○
32	精神保健対策事業におけるホームページ上に掲載する相談機関数	125機関	137機関	A	125機関	複数の悩みを抱えた方に対応できるよう様々な相談窓口をまとめた冊子を作成・配布。	保健所保健予防課	○
33	自殺対策キャンペーンの実施回数	2回	2回	A	2回	9月と3月の各1日に、昼の部と夜の部で実施。	保健所保健予防課	○
34	精神保健対策事業における講演会・研修会及び地域からの依頼による教室の実施回数	1回	4回	A	1回	家族会・包括支援センター、施設等において実施。	保健所保健予防課	○
35	学校へのスポーツ推進委員の派遣人数	20人	56人	A	20人	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
36	スポーツフェスタの来場者数	5,000人	10,800人	A	5,000人	今後も引き続き開催していく。	スポーツ振興課	○
37	夏休みのラジオ体操カード配布数	10,890枚	10,290枚	A	10,890枚	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
38	夏休みのラジオ体操精進賞表彰数	10,069枚	9,350枚	A	10,069枚		スポーツ振興課	○
39	学校体育施設の地域住民等への開放実施校数	67校	67校	A	67校	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
40	市民スポーツ教室数	20教室	19教室	A	20教室	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	成人 18～64歳
41	参加率50%以上のスポーツ教室数	15教室	14教室	A	15教室	今後も継続して実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
42	コミュニティセンターにおける各種講座の実施数	74講座	74講座	A	-	今後も継続して、関連する講座の実施を目指す	地域コミュニティ支援課	○
43	市民大学年間講座実施総数	74講座	74講座	A	50講座	市民大学をはじめ、各講座とも受講者に好評で多くの参加を得ている。今後も積極的に広報し、受講者増に繋げたい。	生涯学習課	○
44	事業所への広報誌「New Wave vol.59」配布数 (商工会議所会報に折込で配布)	-	・横須賀市のホームページで健康経営について周知している。(横須賀商工会議所のページと連動) ・事業所アンケート調査で、健康課題についての設問を設け、行政に望むこと等について現状把握した。	-	-	経済部と横須賀商工会議所と連携し、周知啓発を継続する。	人権・ダイバーシティ推進課	○
45	集団健康教育の参加率	60%	60.8%	A	-	参加率は令和6年度と比較し増加したが、これは定員を減らしたためであり参加者人数は増加していない。また、参加者の多くが65歳以上であり、介護予防教室と参加者層が重なっている。これらの状況を鑑み、生活習慣病予防講座は令和8年度は実施せず、働きざかり世代へのアプローチとして職域での健康教育を強化していく。	健康増進課	○
46	健康教育に関する講演会の参加率	70%	80%	A	80%	事業実施にあたり、健康福祉センターと協力して実施していく。より市民に近い目線での内容検討を行い、参加率を維持していく。	健康増進課	○
47	喫煙防止教室の実施	2校	2校	A	2校	実施後のアンケート結果より、喫煙のリスクへの理解が深まっていることも確認ができた。引き続き依頼に応じて実施していく。	健康増進課	○
48	熱中症予防対策の協力施設数	200施設	224施設	A	230施設	引き続き、昨年度より参加施設数の増加を目指す。	健康増進課	○
49	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	22回	A	22回	関係団体への周知を強化し、働きざかり世代への健康教育を実施したため令和6年度と比較し増加した。令和8年度も引き続き実施するが、ニーズや現状把握が必要であるため、目標の実施回数は維持としたい。	健康増進課	○
50	ラジオ体操登録団体数	100団体	82団体	B	100団体	登録団体へは引き続きサポートを行う。	健康増進課	○
51	健康アプリ利用者数	7,000人	8,565人	A	-	ポイント付与のキャンペーンを実施し利用者数が増加したが、その後は多くの人が継続していないことがアクティブ率より読み取れ、事業の継続性は難しく、令和7年度で事業終了。	健康増進課	○
52	ヘルスメイト委託事業参加者数	280人	419人	A	320人	実績値の根拠は、保育園の講話(343人)、講話と調理実習(76人)	健康増進課	○
53	食育に関する教室等の講習会参加率	70%	93%	A	70%	実績値の根拠は、魚のさばき方教室(申込16人参加15人)、食育推進調理実習(申込40人、参加38人)	健康増進課	○
54	食育関係団体との連携数	310機関	311機関	A	315機関	実績値の根拠はE表示協力店(300)+新規登録店(3)+ヘルスメイトよこすか、神奈川県立保健福祉大学、商工会議所、JA、食品衛生協会、イオン、キューピー、味の素(8)。今後も広く連携し、累積して目標を達成していく。	健康増進課	○
55	食育推進キャンペーンの参加者数	-	未実施		522人	令和8年度は食育単体で実施予定	健康増進課	○
56	巡回指導を行った給食施設数	54施設	60施設	A	55施設	事業所への巡回指導を順調に実施することができた。	健康増進課	○
57	特定給食施設講演会参加施設数	77施設	90施設	A	80施設	テーマが時勢的によく参加施設数のがびた。ハイブリットでの実施は好評。今後も継続する。	健康増進課	○

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度 目標	令和7年度 実績	評価	令和8年度 目標	担当課コメント	担当部署	成人 18～64歳
58	一般健康相談の満足度	90%	100%	A	100%	18人に対して実施し、アンケート結果より満足度は100%であった。引き続き丁寧に相談対応を行い、行動変容につながるよう満足度の高い健康相談を実施していく。	健康増進課	○
59	介護予防サポーター、フレイルサポーター養成数 (介護予防・フレイル)	100人	87人	B	100人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。	健康増進課	○

⑯ 高齢者（65歳～）

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度目標	令和7年度実績	評価	令和8年度目標	担当課コメント	担当部署	高齢者 65歳～
1	歯周病検診受診率	12.1%	11.1%	A	12.5%	若い世代の受診者が少ない点が課題です。今後は20歳を含む若年層への周知・受診勧奨を重点的に強化するとともに、関係機関と連携した情報提供等により受診しやすい環境づくりを進め、受診率の向上を図っていきます。	健康管理支援課	○
2	オーラルフレイル予防教室参加者数	360人	237人	C	360人	目標達成には至らなかった。引き続き教室実施の周知と参加者募集の方法を工夫し、計画達成に向け取り組む。	健康増進課	○
3	ミニオーラルフレイル教室参加者のオーラルフレイル認知度（65歳以上）	56.40%	55.70%	A	56.80%	目標にはあと一歩届かなかった。若い世代から関心がもてるよう、引き続き普及啓発をおこなっていく。	健康管理支援課	○
4	がん検診初診者数	25,000人	22,495人	B	23,000人	目標値に向け、引き続き継続していく	健康管理支援課	○
5	がん検診無料クーポン券の発送件数	12,500件	13,453件	A	26,550件	令和8年度より無料クーポン券を拡充しているため件数を増加。引き続き効果的な勧奨の実施を行っていく	健康管理支援課	○
6	がんの精密検査未受診勧奨実施件数	1,150件	1,421件	A	1,030件	未受診者が少しでも減るよう対策をたてていく	健康管理支援課	○
7	市のホームページ等にごがん検診実施医療機関情報（日曜診療等）の掲載医療機関件数	150件	172件	A	150件	引き続き医療機関と情報共有を行いながら実施していく	健康管理支援課	○
8	市民健診講演会実施回数	1回	1回	A	1回	引き続きより良い方法での実施を模索していく	健康管理支援課	○
9	後期高齢者健康診査受診率	25%	24.10%	A	24%	受診率が向上するよう対策をしていく、目標は再興プランに合わせ修正した	健康管理支援課	○
10	医療保険非該当者の保健指導実施人数	10人	7人	B	10人	引き続き継続していく	健康管理支援課	○
11	骨密度検診受診者数	1,865人	2,910人	A	1,640人	令和7年度は受診率が大幅に想定を上回り、結果として予算を超過した。令和9年度の目標（予算）については、令和8年度の実績に基づき必要な見直しを行い、適正な水準に修復（調整）していく。	健康管理支援課	○
12	後期高齢者健康診受診勧奨通知の発送数	73,000通	73,270通	A	76,100通	対象者は増加し続けている。効果的な勧奨の実施を行っていく	健康管理支援課	○
13	市のホームページ等に市民健診実施医療機関情報（日曜診療等）の掲載医療機関件数	150件	172件	A	150件	引き続き医療機関と情報共有を行いながら実施していく	健康管理支援課	○
14	健診センター特定健診受診者数（40歳～74歳の国民健康保険・社会保険の被保険者）	2,669人	2,912人	A	3,081人	引き続き微増する目標値に向け事業を安定的に継続していく	健康管理支援課	○
15	健診センターの休日健診実施回数	3回	3回	A	3回	休日健診の希望者もいるため継続していく	健康管理支援課	○
16	健診センターにおける生活習慣病の予防と改善を目的とした結果説明会実施回数	11回	11回	A	11回	引き続き希望者に対して実施していく	健康管理支援課	○
17	毎月市のホームページに健診実施医療機関情報を掲載	11回	11回	A	11回	引き続き掲載内容を適宜更新、掲載していく	健康管理支援課	○
18	特定健診受診率（国民健康保険加入の40～74歳が対象）	34.0%	実績は10月以降に確定		35.0%	20.6%（令和8年2月時点の速報値） 前年同時期と比較すると0.5ポイント伸びている	健康管理支援課	○

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度目標	令和7年度実績	評価	令和8年度目標	担当課コメント	担当部署	高齢者 65歳～
19	特定保健指導実施率	16.0%	実績は10月以降に確定		17.0%	0.1%(令和8年2月時点の速報値) 前年同時期と同レベル。実績は今後伸びてくる見込み。	健康管理支援課	○
20	特定健康診査の結果、血圧のリスク者への受診勧奨後の医療機関受診率	38.5%	17.7%	D	38.5%	令和6年度までは、月次で対象者を抽出していたが、令和7年度から年次で対象者を抽出するスキームに変更。健診結果を見て、自発的に受診する方が、対象に含まれなくなったことにより、表面的には受診率が全体的に低下した。目標値はデータヘルス計画中間評価(令和8年度中)に再検討予定	健康増進課	○
21	特定健康診査の結果、血糖のリスク者への受診勧奨後の医療機関受診率	38.5%	20.5%	D	38.5%		健康増進課	○
22	特定健康診査の結果、脂質のリスク者への受診勧奨後の医療機関受診率	38.5%	17.9%	D	38.5%		健康増進課	○
23	特定健康診査の結果、腎臓のリスク者への受診勧奨後の専門医療機関受診率	51.7%	実績は8月以降に確定		51.9%	令和7年度実績は8月以降に判明予定	健康管理支援課	○
24	生後4カ月までの乳児の養育環境の把握率	100%	100%	A	100%	保健師や助産師が、新生児・乳児家庭訪問を行い、訪問できなかった家庭は面接等を実施し、全数把握に努めました。今後も、継続して実施します。	地域健康課	○
25	職域との連携による健康教育の実施回数	1回	1回	A	1回	鎌倉保健福祉事務所、鎌倉保健福祉三崎センター、労働基準監督署、横須賀市保健所合同で研修会を実施。	保健所保健予防課	○
26	相談することの大切さについてのポスター配布数	2,000枚	2,000枚	A	2,000枚	毎年9月、3月に自殺予防週間、月間に合わせて啓発ポスターを作成し関係機関に配布。	保健所保健予防課	○
27	精神保健対策事業における相談機関を掲載した冊子・カードの配布数	14,000枚	14,000枚	A	14,000枚	行政機関を中心に、福祉施設、病院、学校等相談冊子を配布。	保健所保健予防課	○
28	自殺対策キャンペーンの実施回数	2回	2回	A	2回	9月と3月の各1日に、昼の部と夜の部で実施。	保健所保健予防課	○
29	学校へのスポーツ推進委員の派遣人数	20人	56人	A	20人	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
30	スポーツフェスタの来場者数	5,000人	10,800人	A	5,000人	今後も引き続き開催していく。	スポーツ振興課	○
31	夏休みのラジオ体操カード配布数	10,890枚	10,290枚	A	10,890枚	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
32	夏休みのラジオ体操精進表彰数	10,069枚	9,350枚	A	10,069枚		スポーツ振興課	○
33	学校体育施設の地域住民等への開放実施校数	67校	67校	A	67校	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
34	市民スポーツ教室数	20教室	19教室	A	20教室	今後も引き続き実施していく予定です。	スポーツ振興課	○
35	参加率50%以上のスポーツ教室数	15教室	14教室	A	15教室		スポーツ振興課	○
36	コミュニティセンターにおける各種講座の実施数	74講座	74講座	A	-	今後も継続して、関連する講座の実施を目指す	地域コミュニティ支援課	○
37	市民大学年間講座実施総数	74講座	74講座	A	50講座	市民大学をはじめ、各講座とも受講者に好評で多くの参加を得ている。今後も積極的に広報し、受講者増に繋げたい。	生涯学習課	○
38	集団健康教育の参加率	60%	60.8%	A	-	参加率は令和6年度と比較し増加したが、これは定員を減らしたためであり参加者人数は増加していない。また、参加者の多くが65歳以上であり、介護予防教室と参加者層が重なっている。これらの状況を鑑み、生活習慣病予防講座は令和8年度は実施せず、働きざかり世代へのアプローチとして職域での健康教育を強化していく。	健康増進課	○

No	KPI(重要業績評価指数) 目標達成に向けた進捗状況を定量的に評価するための指標	令和7年度目標	令和7年度実績	評価	令和8年度目標	担当課コメント	担当部署	高齢者 65歳～
39	健康教育に関する講演会の参加率	70%	80%	A	80%	事業実施にあたり、健康福祉センターと協力して実施していく。より市民に近い目線での内容検討を行い、参加率を維持していく。	健康増進課	○
40	熱中症予防対策の協力施設数	200施設	224施設	A	230施設	引き続き、昨年度より参加施設数の増加を目指す。	健康増進課	○
41	地域、職域連携による健康教育の実施数	15回	22回	A	22回	関係団体への周知を強化し、働きざかり世代への健康教育を実施したため令和6年度と比較し増加した。令和8年度も引き続き実施するが、ニーズや現状把握が必要であるため、目標の実施回数は維持としたい。	健康増進課	○
42	ラジオ体操登録団体数	100団体	82団体	B	100団体	登録団体へは引き続きサポートを行う。	健康増進課	○
43	健康アプリ利用者数	7,000人	8,565人	A	-	ポイント付与のキャンペーンを実施し利用者数が増加したが、その後は多くの人が継続していないことがアクティブ率より読み取れ、事業の継続性は難しく、令和7年度で事業終了。	健康増進課	○
44	ヘルスメイト委託事業参加者数	280人	419人	A	320人	実績値の根拠は、保育園の講話(343人)、講話と調理実習(76人)	健康増進課	○
45	食育に関する教室等の講習会参加率	70%	93%	A	70%	実績値の根拠は、魚のさばき方教室(申込16人参加15人)、食育推進調理実習(申込40人、参加38人)	健康増進課	○
46	食育関係団体との連携数	310機関	311機関	A	315機関	実績値の根拠はE表示協力店(300)+新規登録店(3)+ヘルスメイトよこすか、神奈川県立保健福祉大学、商工会議所、JA、食品衛生協会、イオン、キューピー、味の素(8)。今後も広く連携し、累積して目標を達成していく。	健康増進課	○
47	食育推進キャンペーンの参加者数	-	未実施		522人	令和8年度は食育単体で実施予定	健康増進課	○
48	巡回指導を行った給食施設数	54施設	60施設	A	55施設	事業所への巡回指導を順調に実施することができた。	健康増進課	○
49	特定給食施設講演会参加施設数	77施設	90施設	A	80施設	テーマが時勢的によく参加施設数が増えた。 ハイブリットでの実施は好評。今後も継続する。	健康増進課	○
50	一般健康相談の満足度	90%	100%	A	100%	18人に対して実施し、アンケート結果より満足度は100%であった。引き続き丁寧に相談対応を行い、行動変容につながるよう満足度の高い健康相談を実施していく。	健康増進課	○
51	後期高齢者を対象にした保健事業で日常生活圏域の事業実施(圏域数)	10圏域	10圏域	A	10圏域	引き続き市内全域10圏域で実施していく。低栄養(口腔リスク・身体的フレイルリスク含む)、健康状態不明者へのアプローチに加え、令和8年度は重症化予防事業も行い、ハイリスク者への個別支援を行う。	健康増進課	○
52	後期高齢者を対象にしたフレイル予防の普及啓発で日常生活圏域の事業実施(団体数)	13団体	13団体	A	13団体	目標達成することができた。令和8年度は組織変更に伴い、健康福祉センター主体で実施していく。	健康増進課	○
53	介護予防に関する知識の普及のための教室等の教室参加者数(栄養・運動)	400人	321人	B	440人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。栄養教室について、参加人数の枠を増やして実施する。	健康増進課	○
54	介護予防サポーター、フレイルサポーター養成数(介護予防・フレイル)	100人	87人	B	100人	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。	健康増進課	○
55	地域型介護予防教室(委託)回数	240回	170回	B	240回	引き続き、地域包括支援センターとの様々な会議体を通して、目標達成に向けて働きかける。	健康増進課	○
56	地域リハビリテーション活動支援事業における専門職派遣事業の実施団体数	6団体	4団体	C	6団体	目標達成には至らなかったが、昨年度実績を上回ることができた。	健康増進課	○